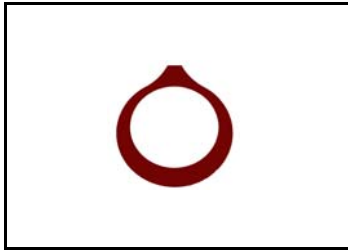


平成28年度

小山町の教育

小山町教育委員会



町章

一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャルOを基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。考案者は用沢の山崎先さんで、富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

*******小山町民憲*******

わたくしたちは、富士のもと水と緑にめぐまれて
いることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、
明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。

1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。

1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。

1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。

町制施行70周年記念にあわせて一般町民に公募、
昭和57年12月5日制定。

町の木／ふじざくら

富士山麓に多く自生し、樹高は3～6mの小喬木で、小さな花をつける。花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びている。まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉も小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適している。4月～6月にかけ、葉が伸びる前、一斉に開花する。



町の花／なのはな

10月ごろ、高畝にした田圃に種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3～4月に黄色い十字花を咲かす。花はアブラナに似てやや小形である。また開花する前の柔らかい蕾は、茎から摘まれ、塩漬けにして地域の特産物、水掛菜（とう菜）とされ各地に出荷している。

町の鳥／うぐいす

「ホーホケキョ」の鳴き声はだれでも知っている。春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材に。スズメよりやや小さく、体色は地味でオスはメスより大きく、その差が極端。「ケキョ」の部分に富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声がもっともよいという。特に須走に多く生息。



目 次

I 小 山 町 の 概 要

1 位 置 と 地 勢	1
2 沿 革	2
3 人 口 ・ 世 帯 数 の 推 移	3

II 教 育 行 政

1 教 育 委 員 会〔歴 代 教 育 委 員 長 ・ 教 育 長 ・ 教 育 委 員〕 ..	4
2 教 育 委 員 会 機 構 図 お よ び 事 務 分 掌	6
3 平 成 27 年 度 教 育 方 針 ・ 教 育 施 策	7
4 教 育 費 予 算	10
5 民 生 費 予 算	13

III 学 校 教 育 等

1 学 校 教 育 関 係 等 主 要 事 業	15
2 幼 稚 園 ・ 保 育 園 ・ こ ど も 園 の 目 標 等	17
3 小 学 校、中 学 校、幼 稚 園、保 育 園、こ ど も 園 一 覧 表	18
4 小 山 町 立 学 校 通 学 区 一 覧	20
5 学 校 の 位 置 と 標 高	20
6 小 学 校、中 学 校、幼 稚 園、保 育 園、こ ど も 園 施 設 の 状 況	21
7 小 学 校 在 籍 者 数 の 推 移	22
8 中 学 校 在 籍 者 数 の 推 移	22
9 幼 稚 園 在 園 者 数 の 推 移	23
10 保 育 園 ・ こ ど も 園 在 園 者 数 の 推 移	23
11 教 職 員 の 構 成	24
12 中 学 校 卒 業 後 の 進 路	25
13 今 後 5 か 年 の 就 学 児 童 推 定 表	25
14 就 学 奨 励 援 助	26
15 育 英 奨 学 資 金	28
16 学 校 保 健	29
17 日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー	31
18 学 校 給 食	32

Ⅳ 社会教育

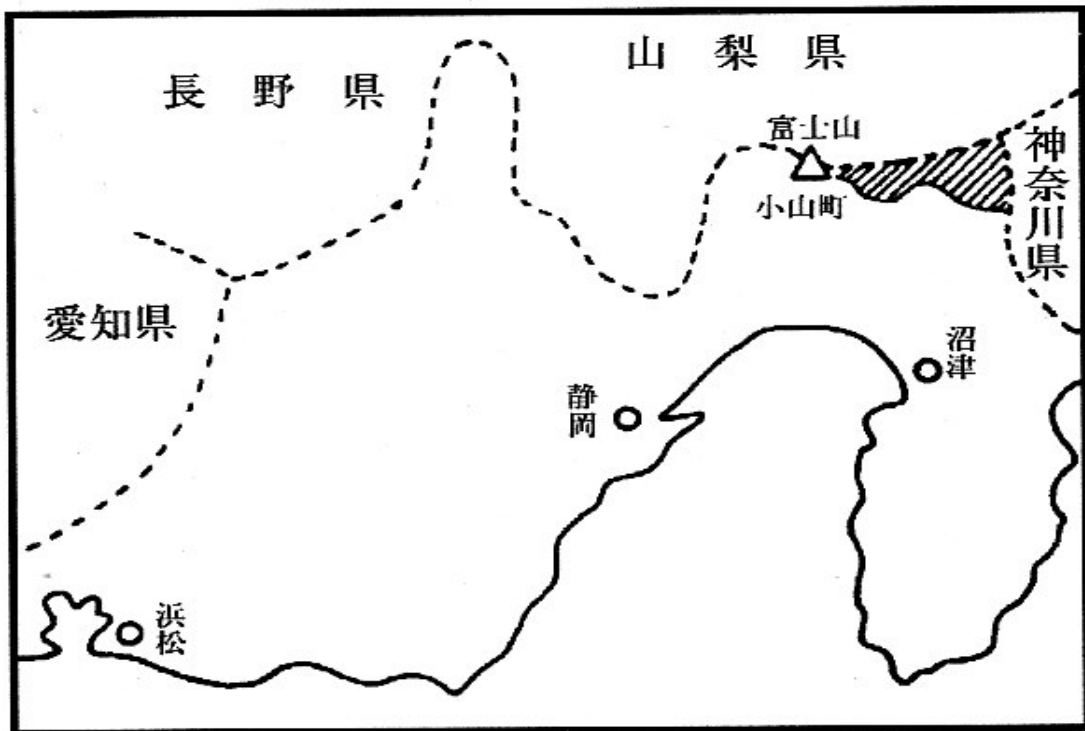
1 社会教育委員	33
2 生涯学習	33
3 芸術文化	38
4 文化財保護	39
5 小山町文化財地名表	42
6 図書館	43
7 社会体育	45
Ⅴ 小山町教育機関等配置図	48

I 小山町の概要

1 位置と地勢

小山町は、静岡県の中東端(北緯35° 21′ 東経138° 59′)に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している。西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と北東方は丹沢山地(不老山930m)に東南方は箱根外輪山(金時山1,213m)と足柄山嶺(足柄峠759m)に囲まれ、東西に26.04km、南北に13.33kmと東西に長く延び、面積は136.13km²である。市街地、農耕地は、海拔およそ300～800mの間にわたる緩傾斜地地帯にある。河川は、源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ酒匂川となって相模湾にそそいでいる。気候は、気温の年較差が大きく湿度の高い地形で、冬は寒さが厳しいが、盛夏の朝夕の気温は低く、しのぎ易い。

当地を主要交通幹線道としての東名高速道路、国道246号、国道138号、東富士五湖道路そして県道8路線が走り、JR御殿場線と共に、産業、観光両面に重要な役割を果たしている。



面積	136.13km ²
人口	19,197人
世帯数	7,516世帯

(H28. 4. 1)

2 沿革

当地は、平安時代後半から戦国時代初期にかけて、御殿場市の鮎沢辺りを中心とする伊勢神宮の荘園、大沼鮎沢御厨の一部であったと言われている。中世には竹之下の合戦が行われ、足柄峠や籠坂峠は交通の要衝となっていたという記録も残っている。江戸時代には、町域の大部分が小田原藩領だった。しかし、宝永4年(1707)の富士噴火により全村幕府領となったものの、その後15か村は小田原藩領に復すこととなった。

明治になり、いく度かの変遷を経て、明治22年町村制の施行により六合村(小山、生土、中島、柳島、湯船、藤曲の各旧村)、菅沼村(旧菅沼村)足柄村(竹之下〈所領〉、新柴、桑木の各旧村)、北郷村(用沢、棚頭、大御神、中日向、上野、阿多野、吉久保、下古城、大胡田、上古城、下小林、一色、古沢の各旧村)、須走村(旧須走村)の5か村に統合された。

大正元年8月1日に六合村と菅沼村が合併して町制をしき、小山町となった。その後、町村合併促進法施行により、昭和30年4月1日には足柄村が、昭和31年8月1日には北郷村が、昭和31年9月30日には須走村がそれぞれ小山町に合併し、新小山町が誕生、現在の町域に拡大した。平成24年8月1日には、町制施行100周年を迎えた。



小山町役場旧庁舎

S7.11～S56.10

小山町役場新庁舎

S57.11～現在

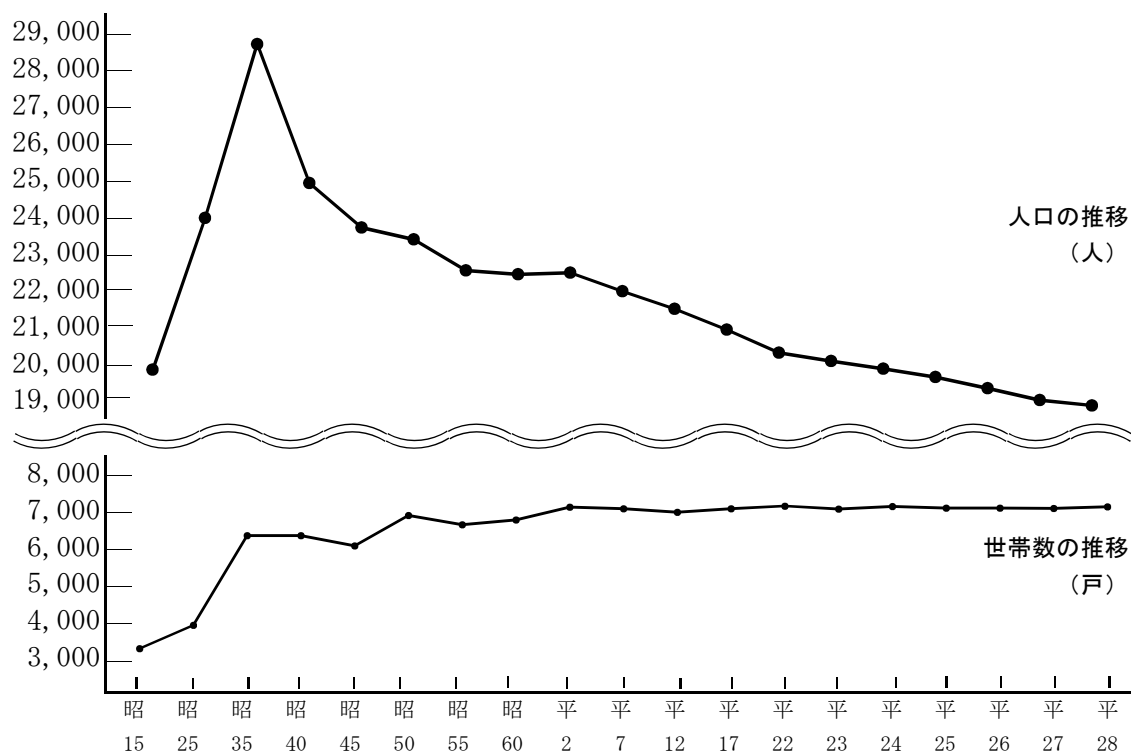


3 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

地区 年	小 山		足 柄		北 郷		須 走		計	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
昭和15年	2,345	13,912	277	1,632	649	4,189	92	433	3,363	20,166
25年	2,844	16,803	337	1,961	753	4,922	113	592	4,047	24,278
35年	2,887	15,418	288	1,615	628	3,962	2,869	7,994	6,672	28,989
40年	2,990	14,606	298	1,565	694	3,816	2,691	5,232	6,673	25,219
45年	2,934	13,543	338	1,549	794	3,959	2,300	4,966	6,366	24,017
50年	3,460	12,228	403	1,675	1,179	4,817	2,219	4,976	7,261	23,696
55年	3,080	10,989	399	1,641	1,343	5,437	2,165	4,785	6,987	22,852
60年	3,082	10,789	432	1,676	1,491	5,777	2,120	4,512	7,125	22,754
平成 2年	3,132	10,345	424	1,711	1,553	5,911	2,393	4,823	7,502	22,790
7年	2,945	9,647	473	1,755	1,688	6,104	2,354	4,782	7,460	22,288
12年	2,710	8,799	550	2,006	1,698	6,036	2,396	4,973	7,354	21,814
17年	2,595	8,049	608	2,068	1,745	5,909	2,511	5,225	7,459	21,251
22年	2,562	7,529	648	2,119	1,831	5,912	2,493	5,062	7,534	20,622
23年	2,546	7,370	659	2,146	1,839	5,882	2,403	5,005	7,447	20,403
24年	2,635	7,347	652	2,081	1,811	5,803	2,423	4,957	7,521	20,194
25年	2,625	7,258	661	2,081	1,840	5,801	2,354	4,826	7,480	19,966
26年	2,592	7,082	665	2,063	1,858	5,797	2,360	4,719	7,475	19,661
27年	2,595	6,974	669	2,036	1,866	5,736	2,336	4,592	7,466	19,338
28年	2,591	6,872	688	2,026	1,883	5,742	2,354	4,557	7,516	19,197

●グラフでみる人口・世帯数の推移



Ⅱ 教育行政

1 教育委員会

〔教育長および教育委員〕

職 名	氏 名 ^{めい}	性別	任 期
教 育 長	あま の ふみ こ 天 野 文 子	女	平成30年 3月31日
委 員 教育長職務代理者	やま ぐち け さ じ 山 口 今朝治	男	平成28年11月30日
委 員	いな けい こ 稲 恵 子	女	平成30年 9月30日
〃	よね やま よし こ 米 山 芳 子	女	平成31年 9月30日
〃	あい はら まさ かず 相 原 正 和	男	平成29年 9月30日

〔歴代教育委員長・教育長〕

〈教育委員長〉

氏 名	就任年月日	退任年月日
小野 義則	昭和32年 9月 1日	昭和42年 9月30日
稲 鉄房	昭和42年10月13日	昭和46年 4月 9日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和51年 4月 1日	昭和55年 9月30日
湯山 英夫	昭和55年12月 3日	昭和58年 2月26日
米山 豊彦	昭和58年 7月 4日	平成 4年 3月31日
野木 美佑	平成 4年 4月 1日	平成 8年 6月30日
喜多 淳隆	平成 8年 7月 2日	平成12年11月30日
横山 明夫	平成12年12月 1日	平成14年 9月30日
米山 彰	平成14年10月 1日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成18年 8月11日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成19年 7月 4日	平成20年11月30日
尾崎 宏也	平成20年12月 1日	平成26年 9月30日
山口今朝治	平成26年10月 1日	平成27年 3月31日

※平成27年3月31日法律改正により委員長職廃止

〈教 育 長〉

氏 名	就任年月日	退任年月日
尾崎 幸雄	昭和33年10月 1日	昭和49年 3月 9日
池谷 典男	昭和49年 4月17日	昭和53年 3月22日
渡辺 諄一	昭和53年 4月20日	昭和54年 9月30日
	昭和54年12月12日	昭和55年 9月30日
天野 隆	昭和55年12月10日	昭和63年11月30日
稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
嶋田 實雄	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 1日
岩田 正憲	平成 9年 4月21日	平成16年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
天野 文子	平成24年12月 1日	平成27年 3月31日※
	平成27年 4月 1日	現 在

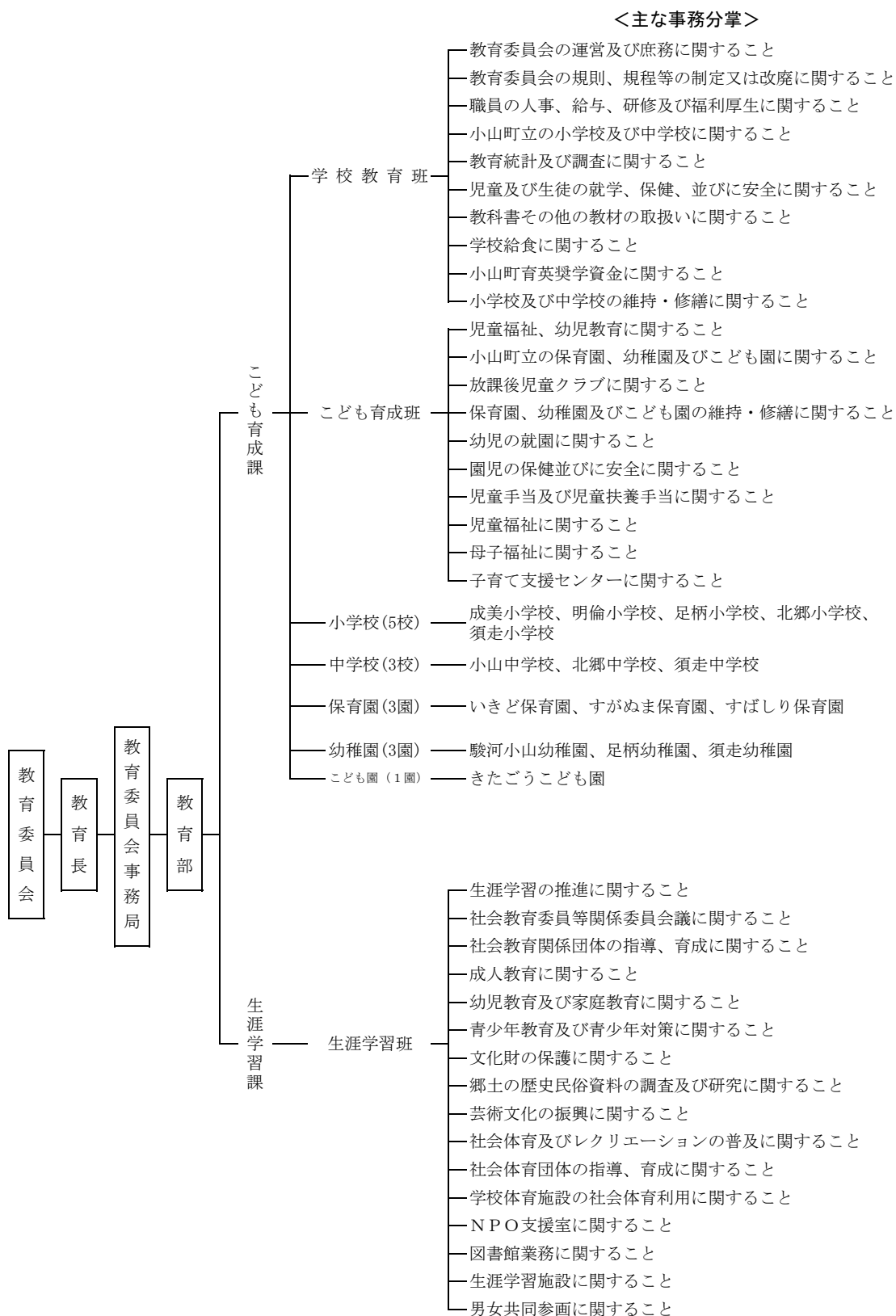
※法律改正に対応するため辞職

〔歴代教育委員〕

氏 名	就任年月日	退任年月日
永原 正雄	昭和31年10月 1日	昭和32年 7月20日
小見山聞一	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日
芹澤 寛哉	昭和31年10月 1日	昭和35年 9月30日
小野 義則	昭和31年10月 1日	昭和42年 9月30日
湯山 松興	昭和31年10月 1日	昭和49年12月17日
長田 富雄	昭和32年 8月30日	昭和35年 9月30日
尾崎 幸雄	昭和32年12月24日	昭和49年 3月 9日
小見山権十	昭和35年10月14日	昭和39年 9月30日
田代 和男	昭和35年10月14日	昭和43年 9月30日
稲 鉄房	昭和39年10月 1日	昭和46年 4月 9日
高村 一男	昭和42年12月15日	昭和46年 4月 9日
池谷 二市	昭和43年10月 3日	昭和47年10月 2日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和46年 6月15日	昭和54年 9月30日
鈴木 繁	昭和47年10月 3日	昭和50年 8月19日
池谷 典男	昭和49年 3月23日	昭和53年 3月22日
湯山 英夫	昭和50年 4月 1日	昭和58年 2月26日
渡辺 諄一	昭和50年10月 9日	昭和54年 9月30日
	昭和54年11月22日	昭和55年 9月30日
米山 豊彦	昭和51年 4月 1日	平成 4年 3月31日
岩田 章	昭和53年 7月26日	昭和61年 7月25日
岩田 亮一	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
天野 隆	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
野木 美佑	昭和58年 7月 2日	平成 8年 6月30日
藤曲 秀夫	昭和61年10月 1日	昭和62年 7月11日

氏 名	就任年月日	退任年月日
岩田喜久治	昭和62年 7月16日	平成 2年 9月30日
稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
喜多 淳隆	昭和63年12月 1日	平成12年11月30日
福山 宗順	平成 2年10月 1日	平成 6年 9月30日
嶋田 實雄	平成 4年 4月 1日	平成 9年 4月 1日
田代 六男	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 7日
横山 明夫	平成 6年10月 1日	平成14年 9月30日
末光 愛正	平成 8年 7月 1日	平成11年 7月 2日
米山 元	平成 9年 4月15日	平成11年 4月 9日
岩田 正憲	平成 9年 4月15日	平成16年11月30日
米山 彰	平成11年 5月18日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成11年 7月 3日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成12年12月 1日	平成20年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
鈴木 俊一	平成19年 7月 3日	平成23年 7月 2日
米山 珠江	平成18年 8月11日	平成24年 3月31日
吉岡 道隆	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
尾崎 宏也	平成14年10月 1日	平成26年 9月30日
齊藤 広人	平成20年 4月 1日	平成28年 3月31日
天野 文子	平成24年12月 1日	平成27年 3月31日
稲 恵子	平成23年 7月 3日	現 在
米山 芳子	平成24年 4月 1日	現 在
山口今朝治	平成24年 12月1日	現 在
相原 正和	平成28年 4月 1日	現 在

2 教育委員会機構図および事務分掌



3 平成28年度 小山町教育委員会グランドデザイン（教育方針）

小山町民憲章

わたくしたちは、富士のもと 水と緑にめぐまれていることに誇りを持ち、
金太郎のように、健康で、明るい、豊かなまちづくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
- 1.働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。
1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

小山町教育委員会がめざす人間像

凜とした富士、強くて優しい金太郎のような子
～生きて働く力を学び続ける小山の教育～

富士のような人
人との関わり合いを大切に、地域の一員として確かな存在感を持って、よりよい社会づくりに参画する人

金太郎のような人
ふるさと小山で育ったことに誇りを持ち、常に学び、自立した個人として、社会で自らの能力を発揮する人

知

生きて働く学力・体験

徳

豊かな心の醸成

体

健康な心身の育成

第2期科学省
文部科学省
教育振興基本計画

静岡県教育振興基本計画
「有徳の人」づくり
アクションプラン

(●●●●●●●●は事業内容と各年代の関連を示します)

心豊かな生涯学習の推進

- ◎生涯学習の推進●●●●●●●●
- ・生涯学習講演会、生涯学習フェスティバルの実施
- ・生涯学習関連団体との連携推進
- ◎学習機会の提供●●●●●●●●
- ・自主文化事業、各種講座、教室の開催
- ◎図書館サービス事業の充実●●●●●●●●
- ・図書館ボランティアによる読書活動、夜間延長開館の実施
- ・ブックスタート、セカンドブックの充実
- ・子ども読書活動の推進
- ◎人材の活用・育成●●●●●●●●
- ・生涯学習指導者による各種教室の開催
- ◎生涯学習環境の整備●●●●●●●●
- ・文化会館、図書館、体育館等の指定管理制
- ◎情報提供と町民ニーズの反映●●●●●●●●

誰もが活躍できる男女共同参画の推進

- ◎男女共同参画の推進●●●●●●●●
- ・男女共同参画の啓発
- ・男女の人権を尊重する教育や事業の推進

地域交流・国際交流の推進

- ◎地域間交流の推進●●●●●●●●
- ・交流市町の児童生徒との富士登山
- ・広島市への平和都市訪問
- ◎国際理解教育の推進●●●●●●●●
- ・中学生の海外派遣事業(国際友好協会との連携)
- ・ALTの派遣事業の拡大
- ・夢チャレンジ事業の拡充

幼児教育・子育て支援の充実

- ◎幼・保・こども園から始まる小山町の人づくり●●●●●●●●
- ・こども園の充実、職員研修の推進
- ・「遊び」の充実による豊かな社会性の育成
- ・相談活動の充実、小・中・外部機関との連携による発達支援
- ◎子育て支援の充実●●●●●●●●
- ・保育園の「待機児童なし」の継続
- ・ファミリーサポート事業、子育て支援センター、放課後児童クラブの充実
- ・菜の花相談室の充実
- ・金太郎教室の充実
- ◎児童福祉の推進●●●●●●●●
- ・児童虐待防止の働きかけ、相談体制の強化
- ・関係諸機関との情報の共有

充実期

壮年期

子育て期

青年期

学校教育

幼児教育

《幼児教育・学校教育・生涯学習における一貫した教育の推進》

地域文化の振興と青少年の育成

- ◎地域文化活動の推進●●●●●●●●
- ・町民文化祭、文芸誌の発行
- ・文化連盟との連携
- ◎郷土資源・文化財の活用●●●●●●●●
- ・文化財の周知
- ・歴史と文化の継承・活用
- ◎家庭・地域社会における青少年の育成●●●●●●●●
- ・中学生ボランティアの充実
- ・子ども会、青年団活動への援助
- ・青少年活動指導者リーダーの育成、成人式の開催
- ・平和のつどいの実施

スポーツ・レクリエーション活動の振興

- ◎指導者、団体の育成●●●●●●●●
- ・スポーツ推進委員、少年スポーツ指導者の育成
- ◎スポーツ・レクリエーションの推進●●●●●●●●
- ・町民体育大会、各種スポーツ大会の開催
- ・体育協会との連携
- ・一八一運動の推進

町民との協働・共創

- ◎協働・共創の仕組みづくり●●●●●●●●
- ・将来の地域活動等への参加につながる体験活動の重視
- ・まちづくりのリーダーとなる人材の育成
- ・社会総がかりのいじめ対応／子どもの見守り体制づくり
- ・学校地域支援本部事業の充実

生きる力を育む学校教育の充実

- ◎確かな学力を身につける教育の推進●●●●●●●●
- ・少人数、IT指導の充実、低学年支援員、特別支援員の配置
- ・小・小連携、中・中連携、小・中連携の拡充
- ・授業アドバイザーの配置
- ・特別支援教育の充実
- ・低学年書道科の実施
- ・外国語活動(英語教育)の充実
- ・町教育研究校の指定、教育研究奨励賞設置
- ・金太郎勉強会/菜の花講座の実施
- ・地域に根付いた食育の推進
- ・持続可能な社会づくりを踏まえた環境教育、エネルギー教育
- ◎豊かな感性と健やかな心を育む教育の推進●●●●●●●●
- ・こども相談員の配置、適応指導教室の設置
- ・人権教育、道徳教育の推進
- ・安全でおいしい給食、食育の推進
- ・生徒指導連絡会の充実
- ◎安心・安全な学びの場の整備●●●●●●●●
- ・ユニバーサルデザインに対応する学校環境整備
- ・学校施設活用の見直し
- ・学校図書館支援員の配置、蔵書の充実
- ・学校施設、教材、備品の整備
- ・育英奨学制度の周知

小山に育ち 生きる人

主な教育施策

① 心豊かな生涯学習の推進

○生涯学習の推進

- ・生涯学習推進委員大会、講演会の開催
- ・生涯学習フェスティバルの開催

○学習機会の提供

- ・文化事業の実施
- ・各種講座、教室の開催

○図書館サービス機能の充実

- ・子ども読書活動推進計画に基づいた事業の推進
- ・ブックスタートの充実

○人材の活用及び育成

- ・ボランティアバンクの推進
- ・生涯学習指導者による各種教室の開催

○生涯学習環境の整備

- ・施設の整備を進めるとともに多様な学習の場として活用

○情報提供と町民ニーズの反映

- ・情報誌の発行

② 地域文化の振興と青少年の育成

○地域文化活動の推進

- ・町民文化祭の開催
- ・文芸誌の発刊

○郷土資源及び文化財の活用

- ・文化財の活用普及
- ・古文書解読育成事業の実施

○家庭・地域社会における青少年の育成

- ・子ども会、青年団活動への援助
- ・青少年活動指導者リーダーの育成
- ・成人式の実施
- ・金太郎教室の設置

③ スポーツ及びレクリエーションの活動の振興

○指導者及び団体の育成

- ・スポーツ推進委員活動の推進
- ・スポーツ関係団体の支援、育成

○スポーツ及びレクリエーションの推進

- ・町民スポーツ祭等各種スポーツ大会の開催
- ・レクリエーションスポーツ祭の開催

④ 生きる力を育む学校教育の充実

○確かな力を育む学校教育の充実

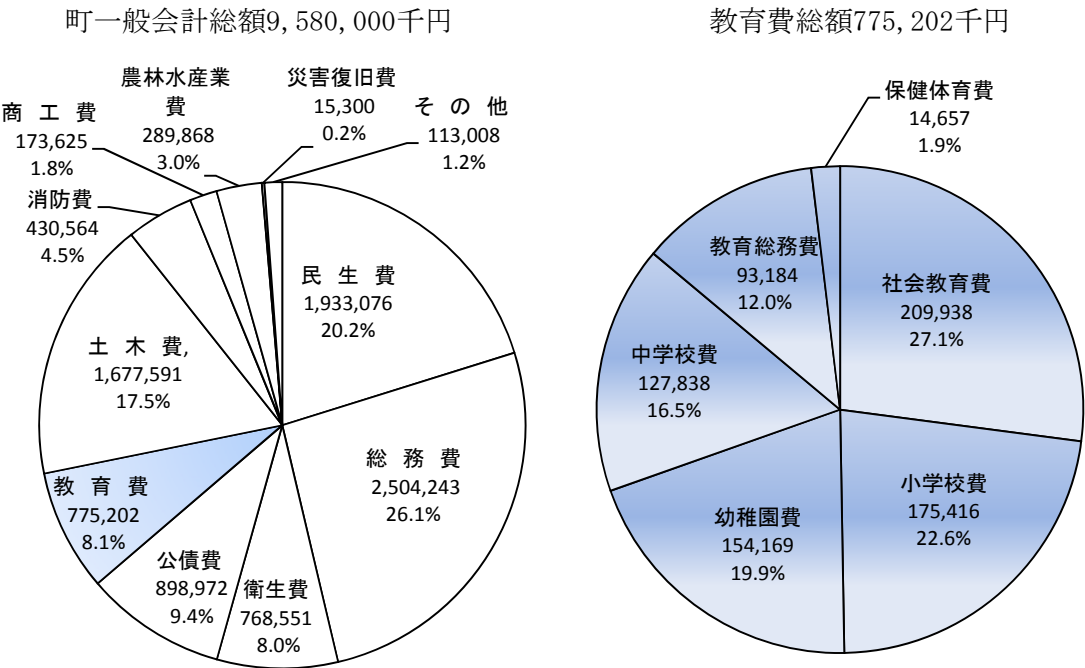
- ・少人数・TT授業の実施
- ・低学年支援員、特別支援員の配置
- ・特別支援教育の充実
- ・子ども相談員による巡回相談の実施
- ・授業アドバイザーの配置
- ・人権教育の推進
- ・学校図書館の充実のための支援員の配置
- ・放課後こども教室の充実
- ・夢チャレンジ事業の推進（英検受験・総合学力調査）

- 豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進
 - ・道徳の時間を要とした心の教育の推進
 - ・食育の推進
 - ・安全でおいしい学校給食の実施
 - ・生徒指導連絡会の充実
- 家庭教育及び幼児教育の推進
 - ・わくわくランド、ぺんぎんランドの充実
 - ・子ども相談員による巡回相談の実施
- 信頼のある安心な学びの場の整備の推進
 - ・小中学校耐震事業の実施
 - ・教材備品、図書の整備
 - ・遊具、体育器具の安全点検
 - ・情報教育の充実
 - ・開かれた学校づくりの推進
 - ・育英奨学制度の周知
- ⑤ 地域間交流及び国際交流の推進
 - 国際理解の推進
 - ・A L T配置事業の実施
- ⑥ 子育て支援の充実
 - 子育てしやすい環境の整備
 - ・幼保一体化事業の実施
 - ・「待機児童なし」の継続実施
 - ・ファミリーサポート事業の推進
 - ・放課後児童クラブの充実
 - DV及び児童虐待防止の啓発や働きかけ、相談体制の強化
 - ・関係機関との相談体制の強化

4 教育費予算

平成28年度教育費予算(当初予算)は7億7,520万2千円で、前年度に比べ3,007万4千円の減額(前年度比96.3%)となり、町一般会計予算95億8千万円の8.1%(前年度9.0%)となっている。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算 (単位：千円)



(2) 教育費予算の推移 (当初予算額) (単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	教 育 費 総 額	町予算に対する割合
平成15年度	8,120,000	969,023	11.9%
平成16年度	8,950,000	1,397,389	15.6%
平成17年度	8,445,000	1,854,690	22.0%
平成18年度	7,890,000	1,153,567	14.6%
平成19年度	8,280,000	1,269,143	15.3%
平成20年度	8,795,000	871,882	9.9%
平成21年度	9,416,000	1,287,440	13.7%
平成22年度	8,910,000	1,510,157	16.9%
平成23年度	8,530,000	1,426,441	16.7%
平成24年度	7,760,000	820,305	10.6%
平成25年度	9,120,000	889,245	9.8%
平成26年度	8,820,000	1,199,290	13.6%
平成27年度	8,970,000	805,276	9.0%
平成28年度	9,580,000	775,202	8.1%

(3) 平成28年度教育費予算の内訳

(単位：千円)

	28年度 予 算	27年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
9. 教育費	775,202	805,276	△30,074	24,987	0	117,036	633,179
1. 教育総務費	93,184	106,893	△13,709	4,474		6,275	82,435
1. 教育委員会費	1,178	1,231	△53				1,178
2. 事務局費	92,006	105,662	△13,656	4,474		6,275	81,257
2. 小学校費	175,416	183,894	△8,478	4,825	0	8,631	161,960
1. 学校管理費	154,539	164,496	△9,957	4,400		3,631	146,508
2. 教育振興費	20,877	19,398	1,479	425		5,000	15,452
3. 中学校費	127,838	120,781	7,057	2,963	0	1,728	123,147
1. 学校管理費	114,827	107,950	6,877	2,551		1,578	110,698
2. 教育振興費	13,011	12,831	180	412		150	12,449
4. 幼稚園費	154,169	143,479	10,690	0	0	95,295	58,874
1. 幼稚園費	154,169	143,479	10,690			95,295	58,874
5. 社会教育費	209,938	234,168	△24,230	9,829	0	4,220	195,889
1. 社会教育総務費	48,310	68,719	△20,409	2,067		660	45,583
2. 生涯学習推進費	3,680	2,217	1,463			60	3,620
3. 図書館費	515	2,641	△2,126				515
4. 生涯学習センター管理費	157,433	160,591	△3,158	7,762		3,500	146,171
5. 自主文化事業費	0	0	0				0
6. 保健体育費	14,657	16,061	△1,404	2,896		887	10,874
1. 保健体育総務費	14,657	16,061	△1,404	2,896		887	10,874

① 人口1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
教 育 費	903,471,000	1,215,720,093	799,871,200	775,202,000
人 口 (年 度 末)	19,661	19,338	19,197	(年度当初) 19,197
1人当たりの教育費	45,952	62,867	41,666	40,381

② 児童1人当たりの小学校費

(単位：円/人)

年度 区分	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
小 学 校 費	174,459,000	239,298,680	186,689,508	175,416,000
児童数(5月1日現在)	1,072	1,010	1,001	947
1人当たりの小学校費	162,742	236,929	186,503	185,233

③ 生徒1人当たりの中学校費

(単位：円/人)

年度 区分	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
中 学 校 費	129,128,000	123,564,959	122,532,442	127,838,000
生徒数(5月1日現在)	528	493	482	454
1人当たりの中学校費	244,561	250,639	254,217	281,581

④ 園児1人当たりの幼稚園費

(単位：円/人)

年度 区分	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
幼 稚 園 費	149,059,000	144,386,216	154,424,353	154,169,000
園児数(5月1日現在)	292	203	179	169
1人当たりの幼稚園費	510,476	711,262	862,706	912,243

5 民生費予算

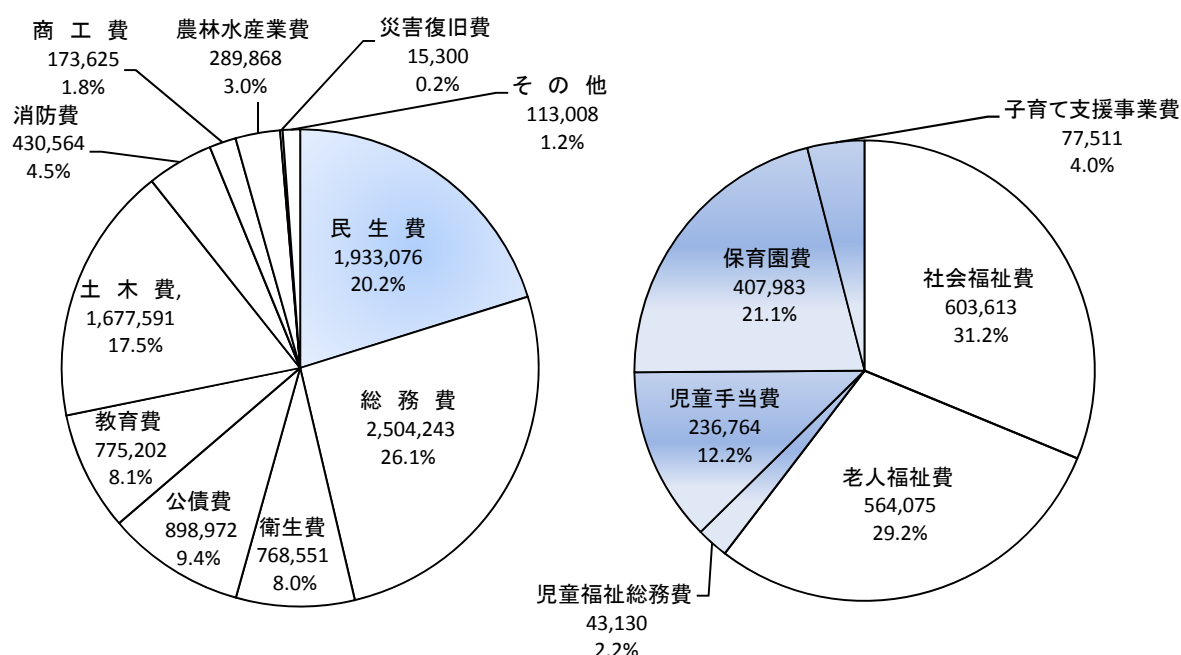
平成28年度児童福祉費(当初予算)は、7億6,538万8千円で、前年度に比べ6,424万3千円の減額(前年度比92.3%)となり、そのうち、保育園費4億798万3千円、子育て支援事業費7,751万1千円で民生費予算19億3,307万6千円となっている。主な減額の要因は、私立菜の花こども園の施設整備が完了したことによるものである。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算

(単位：千円)

町一般会計予算総額9,580,000千円

民生費総額1,933,076千円



(2) 民生費予算の推移(当初予算額)

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	民 生 費 総 額	町予算に対する割合
平成16年度	8,950,000	1,426,071	15.9%
平成17年度	8,445,000	1,423,408	16.9%
平成18年度	7,890,000	1,477,147	18.7%
平成19年度	8,280,000	1,523,442	18.4%
平成20年度	8,795,000	1,580,681	18.0%
平成21年度	9,416,000	1,597,313	17.0%
平成22年度	8,910,000	1,949,769	21.9%
平成23年度	8,530,000	2,024,887	23.7%
平成24年度	7,760,000	1,782,161	23.0%
平成25年度	9,120,000	2,211,360	24.2%
平成26年度	8,820,000	1,844,938	20.9%
平成27年度	8,970,000	2,342,664	26.1%
平成28年度	9,580,000	1,933,076	20.2%

(3) 平成28年度民生費予算の内訳

(単位：千円)

	28年度 予 算	27年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
3. 民生費	1,933,076	2,342,664	△409,588	957,361	76,000	154,417	745,298
1. 社会福祉費	603,613	949,102	△345,489	559,116	76,000	5,031	△36,534
1. 社会福祉総務費	68,810	72,108	△3,298	512		10	68,288
2. 障害者福祉費	360,626	327,010	33,616	224,989		3,528	132,109
3. 健康福祉会館管理費	28,445	376,834	△348,389	258,034	76,000	1,493	△307,082
4. 国民健康保険費	120,823	133,806	△12,983	38,233			82,590
5. 国民年金事務取扱費	6,542	5,966	576	3,970			2,572
6. 臨時福祉給付金等事業	18,367	33,378	△15,011	33,378			△15,011
2. 老人福祉費	564,075	563,931	144	25,191	0	14,853	524,031
1. 老人福祉総務費	89,897	88,972	925	3,538		5,527	80,832
2. 介護保険費	246,724	257,108	△10,384	1,099			245,625
3. 後期高齢者医療費	227,454	217,851	9,603	20,554		9,326	197,574
3. 児童福祉費	765,388	829,631	△64,243	373,054	0	134,533	257,801
1. 児童福祉総務費	43,130	35,348	7,782	24,419			18,711
2. 児童手当費	236,764	240,415	△3,651	202,992			33,772
3. 保育園費	407,983	479,632	△71,649	113,610		134,483	159,890
4. 子育て支援事業費	77,511	74,236	3,275	32,033		50	45,428

① 人口1人当たりの民生費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
民 生 費	2,168,506,467	1,869,671,928	2,362,548,892	1,933,076,000
人 口(年度末)	19,661	(年度当初) 19,338	19,197	(年度当初) 19,197
1人当たりの民生費	110,295	96,684	123,069	100,697

② 園児1人当たりの保育園費

(単位：円/人)

区 分 \ 年 度	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
保 育 園 費	767,058,743	367,452,676	536,486,450	407,983,000
園児数(5月1日現在)	357	430	397	398
1人当たりの保育園費	2,148,624	854,541	1,351,351	1,025,083

Ⅲ 学校教育等

1 学校教育関係等主要事業

(1) 研究、研修の推進

- ・ 校長及び教頭研修
学校経営、教員研修、生徒指導他当面の問題等
- ・ 生徒指導主事(任)研修の実施と生徒指導の充実
「学校いじめ防止基本方針」の策定による「いじめ」の早期発見・早期対応、
不登校児童生徒への対応、問題行動への対応、生徒理解等
- ・ 町指定研究校
北郷中学校・北郷小学校・きたごうこども園
- ・ 町初任者研修会、10年経験者研修、5年経験者研修、2年次研修 実施
- ・ 特別支援教育推進事業 ・ 教頭研修会
- ・ 支援員研修会 ・ 金太郎勉強会
- ・ 研修主任研修会 ・ 菜の花講座（若手教員研修会）

(2) 校内研修の推進

- ・ 自校の課題に沿って研修、研究を進める。
- ・ 駿東地区教育研究会に参加し、各校の教育実践をもとに研修を深める。

各校の研究主題(テーマ)

- ・ 成美小学校 「わかる喜び 学ぶ楽しさを実現できる授業の創造」
～アクティブラーニングにおける学習活動の工夫～
- ・ 明倫小学校 「自分の気持ちや考えを表現できる子」
- ・ 足柄小学校 どの子にも「わかる」授業のユニバーサル化
～みんなで伝え合い、考え合い、解決する子～
- ・ 北郷小学校 「みんなで解決していく学びの楽しさの味わい、主体的に学ぶ子どもの育成」
- ・ 須走小学校 「生き生きと学ぶ子」
～遊んで関わり合い、豊かに表現する子どもの育成のためのユニバーサルデザインの導入～
- ・ 小山中学校 「自ら進んで問いを持ち、互いの考えを尊重しながら、協働して解決できる生徒」
～学習課題や協働場面の工夫を通して～
- ・ 北郷中学校 「粘り強く学ぶ生徒の育成」
～思考過程を大切にした授業展開を通して～
- ・ 須走中学校 「小中連携から、教育力を高める「須走モデル」の創造」
 - ① 幼保小中、地域や家庭も一体となって行動する須走ネットワークを創造し充実させる
 - ② 生き生き学び、確かな目を育て、社会に貢献できる自立した生徒を育成する

(3) 幼稚園・保育園・こども園研修の推進

小山町各園統一研修テーマ

「生きる力の基礎を培う保育の創造」

各園の研修テーマ

- ・駿河小山幼稚園 : 「一人一人が自己を発揮できる援助の工夫」
- ・足柄幼稚園 : 「主体的に遊びが展開できる保育環境づくりの工夫」
- ・須走幼稚園 : 「夢中になって遊べる子を育てる保育の工夫」
～身近な自然とのかかわりをとおして～
- ・いきど保育園 : 「身体を動かして遊ぶ子の育成をめざして」
- ・すがぬま保育園 : 「子どもの聞く力を育てる保育の工夫」
- ・すばしり保育園 : 「子どもの意欲を引き出す保育の工夫」
- ・きたごうこども園 : 「自ら身体を動かそうとする意欲を育てる」

(4) 教職員教育論文の奨励

- ・小山町教育研究奨励賞の授与

(5) 健康教育

- ・学校保健安全委員会の活動と健康教育の充実
- ・校内体力テストの実施
- ・御殿場小山陸上競技記録会への参加
- ・「のびゆくこども」の編集刊行

(6) 思いやり豊かな心を育てる

- ・三世代主張大会 町老人クラブ連合会主催支援
- ・サマーショートボランティア活動計画
 静岡県ボランティア協会主催・町社会福祉協議会共催
- ・老人福祉施設等訪問交流
- ・地域美化活動への参加

(7) 平和教育の推進

- ・小山町立中学校に在籍する生徒が広く平和のすばらしさや命の重みについて深く考えながら自尊心の高揚を図るため、被爆地である広島市等へ生徒6名を派遣する。派遣後、見聞したことについて、校内をはじめ、町の平和の集い等発表の場において、広く平和な生活のすばらしさや命の重みについて、その考えや思いを伝える。

(8) 適正な就学指導と理解啓発

- ・町教育支援委員会:年3回実施のほか、随時相談活動を進める。

(9) 小学校・中学校・幼稚園・保育園・こども園の教育環境の整備充実

- ・各小・中学校・幼稚園・保育園・こども園の施設および備品等の整備

2 幼稚園・保育園・こども園の目標等

(1) 幼稚園・保育園・こども園の目標

- ・ 駿河小山幼稚園 : 仲良く遊ぶ駿河小山っ子
- ・ 足柄幼稚園 : 金太郎のような足柄っ子
- ・ 須走幼稚園 : 目の輝く須走っ子
- ・ いきど保育園 : いきいきと活動できる子
- ・ すがぬま保育園 : のびのびあそぶげんきな子
- ・ すばしり保育園 : 富士のもと心豊かなたくましい子
- ・ きたごうこども園 : 富士のものとびやかにあそぶ子

(2) 幼稚園・保育園・こども園における歳児別保育目標

- ・ 0歳児 : 保育者と触れ合いのかかわり合いながら、安定した気持ちで過ごす。
清潔で安全な保育環境で健康に過ごす。
- ・ 1歳児 : 生理的欲求が満たされ、生活リズムが安定する。
保育者に親しみをもちながら、安心して過ごす。
- ・ 2歳児 : 保育者に見守られながら生活の仕方を知り、自分でできることはしようとする。
身近な人や友達とかかわりながら好きな遊びを楽しむ。
- ・ 3歳児 : 身の回りの生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
思ったことや感じたことを自分なりに表現する。
保育者や友達と触れ合いながら一緒に過ごす楽しさを感じる。
- ・ 4歳児 : 日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
身近な出来事や自然に興味や関心を持ち親しむ。
友達や保護者とかかわりを深め楽しく遊ぶ中で自分の思いを出したり、友達の思いに気づいたりする。
遊びの体験を広げのびのびと表現する。
- ・ 5歳児 : 意欲的に遊びや生活に取り組むと共に、主体的に行動して充実感を味わう。
生活の中で様々なものに触れ、好奇心・探究心を深める。
友達とかかわりを深め、協力し合う大切さを知り、思いやりの心をもつ。
自分の気持ちを表現すると共に、伝わる喜びや伝え合う心地よさを味わう。

3 小学校、中学校、幼稚園、保育園、こども園一覧表

(1) 小学校

(平成28年5月1日現在)

学校名	創立 年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	児童数			学 年 別 児 童 数					
						男	女	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
成美小学校	明7. 3	藤曲150	76-0063 76-0876	高村芳章 瀬戸 貢	6	80	72	152	15	29	29	26	25	28
明倫小学校	明43. 11	菅沼627	76-0064 76-0051	岩瀬 守 藪下清美	(2) 8	(2) 76	(1) 56	(3) 132	(2) 16	(2) 19	(2) 21	(2) 30	(1) 24	(2) 22
足柄小学校	明42. 12	竹之下2411-1	76-0596 76-0327	山中なほみ 櫻井雅彦	6	49	48	97	12	29	10	18	16	12
北郷小学校	明14. 10	用沢604-1	78-0520 78-0500	金澤 勝 古谷永子	(1) 13	(2) 168	(2) 149	(4) 317	(2) 52	(2) 64	(2) 49	(1) 50	(1) 57	(2) 45
須走小学校	明7. 5	須走70-18	75-2730 75-2729	藤田貴久 長房 浩	(2) 11	(9) 159	(3) 109	(12) 268	(1) 47	(3) 53	(3) 50	(3) 41	(3) 43	(2) 34
合 計					(5) 44	(13) 532	(6) 434	(19) 966	(2) 142	(3) 194	(3) 159	(4) 165	(5) 165	(2) 141

()は特別支援学級・児童数、内数

(2) 中学校

(平成28年5月1日現在)

学校名	創立 年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	生徒数			学年別生徒数		
						男	女	計	1年	2年	3年
小山中学校	昭22. 4	藤曲142	76-0154 76-0308	鈴木 宰 齋藤浩二	(2) 9	(4) 113	(1) 99	(5) 212	(1) 78	(1) 66	(3) 68
北郷中学校	昭22. 4	用沢355	78-0514 78-0585	勝俣 純 北條和広	6	73	83	156	38	50	68
須走中学校	昭22. 4	須走99-7	75-2004 75-2088	岩瀬次夫 田中清子	(1) 4	(1) 51	(1) 41	(1) 92	(1) 31	(1) 31	(1) 30
合 計					(3) 19	(4) 237	(2) 223	(6) 460	(1) 147	(1) 147	(4) 166

()は特別支援学級・児童数、内数



北郷中学校

(3) 幼稚園

(平成28年5月1日現在)

園 名	創立 年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数		
						男	女	計	3歳児	4歳児	5歳児
駿河小山幼稚園	平22.4	小山289-1	76-0479	石田好美	3	24	30	54	18	18	18
足柄幼稚園	昭35.4	竹之下2430	76-0584	齊藤美栄	3	13	10	23	5	8	10
須走幼稚園	昭31.4	須走83	75-2710	村松千賀子	6	45	48	93	27	27	39
合 計					12	82	88	170	50	53	67

(4) 保育園

(平成28年5月1日現在)

園 名	創立 年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数					
						男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
いきど保育園	昭31.9	生土132-1	76-0423	鈴木真澄	6	23	29	52	3	6	8	8	13	14
すがぬま保育園	昭38.11	菅沼1074-1	76-0429	小野美幸	6	36	38	74	5	9	12	18	16	14
すばしり保育園	昭30.9	須走153	75-2720	荒生智恵美	6	43	39	82	3	13	12	19	15	20
合 計					18	102	106	208	11	28	32	45	44	48

(5) こども園

(平成28年5月1日現在)

園 名	創立 年月	所在地	電 話 FAX	園長名 副園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数					
						男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
きたごうこども園	平26.4	用沢207-1	78-0504 78-0506	岩田博子 杉浦紀子	10	114	76	190	6	15	24	41	56	48
菜の花こども園	平成28.4	竹之下570-1	76-6622	武藤 ちえみ	5	24	22	46	9	9	12	14	2	0



平成26年度開園 きたごうこども園



平成28年度開園 菜の花こども園

4 小山町立学校通学区一覧

(1) 通常学級の通学区域

学校名	通 学 区 域
成美小学校	小山1区～4区、生土区、音湊区、中島区、柳島区、湯船区、藤曲区、落合区
明倫小学校	南藤曲区、茅沼区、菅沼区、坂下区、谷戸区、大脇区、原向区、所領区
足柄小学校	向方区、宿区、新柴区、桑木区
北郷小学校	用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区、下古城区、大胡田区、上古城区、一色区
須走小学校	上本町区、下本町区、下原区、東原区、緑ヶ丘区、雲雀ヶ丘区
小山中学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北郷中学校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須走中学校	須走小学校の通常学級の通学区域

(2) 特別支援学級(知的障害)の通学区域

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北郷小学校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須走小学校	須走小学校の通常学級の通学区域
小山中学校	小山中学校の通常学級の通学区域
北郷中学校	北郷中学校の通常学級の通学区域
須走中学校	須走中学校の通常学級の通学区域

(3) 特別支援学級(自閉症・情緒障害)の通学区域

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
須走小学校	北郷小学校及び須走小学校の通常学級の通学区域
小山中学校	小山中学校、北郷中学校及び須走中学校の通常学級の通学区域

5 学校の位置と標高

学 校 名	緯 度	経 度	標 高
成 美 小 学 校	35° 21' 36"	138° 59' 16"	3 0 0 m
明 倫 小 学 校	35° 21' 10"	138° 58' 41"	3 2 1 m
足 柄 小 学 校	35° 19' 46"	138° 59' 09"	3 4 2 m
北 郷 小 学 校	35° 20' 28"	138° 56' 49"	4 4 6 m
須 走 小 学 校	35° 21' 39"	138° 52' 21"	7 8 2 m
小 山 中 学 校	35° 21' 29"	138° 59' 23"	2 8 5 m
北 郷 中 学 校	35° 20' 39"	138° 56' 57"	4 4 5 m
須 走 中 学 校	35° 21' 44"	138° 52' 18"	7 8 9 m

6 小学校、中学校、幼稚園、保育園、こども園施設の状況

小学校

平成28年5月1日 現在

学校名	校舎等の現状							校地の状況			付属施設	
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計	屋外運動施設	
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月					プール	建設年月
成美小学校	m ²	m ²		m ²	m ²		m ²	m ²	m ²	m ²	50*15 ・22.5*4.5	S34.9 S51.3
		4,166 225 給:S59.7 給:S59.8			1,126 屋:S54.3		5,517	8,755	11,328	20,083		
明倫小学校		3,656 148 給:S60.7 給:S60.9			(1,123) 屋:S53.3		3,804 (4,927)	8,377	5,745	14,122	25*13 ・13*5	H10.6
		3,804			(1,123)							
足柄小学校		2,192 313 校:S61.3 給:S61.10			474 倉:S52.3		3,014	4,082	10,864	14,946	(25*12) ・(60m ²)	S47.8
		2,505		35	474							
北郷小学校		1,800 2,802 校:S54.3 校:H1.3 給:S54.3			(1,126) 屋:S56.3		4,857 (5,983)	13,005	7,035	20,040	(25*12) ・(10*10)	S48.8
		4,857			(1,126)							
須走小学校		4,168 1,091 校:S62.10 給:H10.3 校:H27.3			1,557 屋:H24.2		6,983	12,375	11,558	23,933	25*17 ・25*5.2	S63.7
	167 167	5,259			1,557							

※（ ）は地区児童屋内体育館

※（ ）は地区町民プール
・印は低学年用

中学校

学校名	校舎等の現状							校地の状況		
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月				
小山中学校	m ²	m ²		m ²	m ²		m ²	m ²	m ²	m ²
		1,755 3,480 校:S49.3 校:H22.11 給:H9.3			(1,479) 屋:S57.3 416 格:H24.1		(7,838)	15,412	7,614	23,026
北郷中学校		3,574 546 校:H8.12 給:H8.12			312 格:S60.3 1,497 屋:H23.1		5,929	15,634	23,805	39,439
		4,120			1,809					
須走中学校		3,995 47 校:H17.10 校:H17.10 校:H21.7			279 格:S55.3 1,664 屋:H21.7		6,130	9,419	13,206	22,625
		4,187			1,943					

※（ ）は地区児童屋内体育館

幼稚園・保育園・こども園

	園舎等の現状							園地の状況		
	園舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月				
駿河小山 幼稚園	m ²	m ²		m ²	m ²		m ²	m ²	m ²	m ²
		482 63 園:H3.3 園:H22.3					545	1,212	1,698	2,910
足柄幼稚園	55	545								
		498 園:S61.11 園:S62.3					553	928	828	1,756
須走幼稚園		1,122 園:H13.7					1,122	2,449	3,446	5,895
	-	1,122			-					
いきど 保育園		639 園:S59.3					639	300	2,786	3,086
	-	639								
すがぬま 保育園		722 園:H6.3					722	396	2,655	3,051
	-	722								
すばしり 保育園		674 園:S53.3					674	1,153	1,039	2,192
	-	674								
きたごう こども園		1,961 園:H26.3					1,961	2,015	2,786	4,801
	1,961	-								

7 小学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	成美小学校		明倫小学校		足柄小学校		北郷小学校		須走小学校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
昭和50年	17	574	(1) 13	(4) 369	6	110	12	392	17	566	(1) 65	(4) 2,011
昭和60年	14	513	(1) 12	(4) 320	6	157	16	577	13	460	(1) 61	(4) 2,027
平成7年	12	385	(1) 11	(5) 261	6	128	13	433	14	418	(1) 56	(5) 1,625
平成12年	11	289	(1) 7	(5) 187	6	125	12	419	12	413	(1) 48	(5) 1,433
平成17年	10	261	(1) 7	(2) 177	6	130	12	362	(1) 14	(3) 407	(2) 49	(5) 1,337
平成22年	6	182	(2) 8	(6) 168	6	119	(1) 11	(2) 314	(1) 13	(2) 380	(4) 44	(10) 1,163
平成24年	6	151	(2) 8	(7) 163	6	106	(1) 11	(2) 296	(1) 13	(5) 356	(4) 44	(14) 1,072
平成25年	6	155	(2) 8	(4) 158	6	98	(1) 12	(2) 305	(1) 13	(6) 327	(4) 45	(12) 1,043
平成26年	6	166	(1) 7	(2) 151	6	93	(1) 12	(2) 289	(2) 13	(8) 311	(4) 44	(12) 1,010
平成27年	6	165	(2) 8	(3) 147	6	102	(1) 12	(2) 303	(2) 12	(8) 284	(5) 44	(13) 1,001
平成28年	6	152	(2) 8	(3) 132	6	97	(1) 13	(4) 317	(2) 11	(12) 268	(5) 44	(19) 966

()は特別支援学級・児童数、内数

8 中学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山中学校		北郷中学校		須走中学校		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
昭和50年	(1) 16	(11) 585	6	193	6	201	(1) 28	(11) 979
昭和60年	(1) 15	(6) 571	8	296	6	173	(1) 29	(6) 1,040
平成7年	(1) 13	(2) 447	8	252	3	114	(1) 24	(2) 813
平成12年	(1) 13	(2) 413	6	197	5	145	(1) 24	(2) 755
平成17年	(1) 10	(1) 286	7	223	(1) 6	(2) 135	(2) 23	(3) 644
平成22年	(2) 11	(4) 280	(1) 7	(3) 183	(1) 5	(3) 127	(4) 23	(10) 590
平成24年	(2) 11	(3) 274	(1) 7	(1) 165	(1) 5	(2) 123	(4) 23	(6) 562
平成25年	(2) 11	(4) 247	(1) 6	(2) 153	(1) 6	(4) 128	(4) 23	(10) 528
平成26年	(2) 10	(4) 221	(1) 6	(2) 161	(1) 5	(3) 111	(4) 21	(9) 493
平成27年	(2) 9	(6) 214	(1) 6	(2) 158	(1) 4	(3) 110	(4) 19	(11) 482
平成28年	(2) 9	(5) 212	6	156	(1) 4	(1) 92	(3) 19	(6) 460

()は特別支援学級・児童数、内数

9 幼稚園在園者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山幼稚園			駿河幼稚園				足柄幼稚園				北郷幼稚園				須走幼稚園				合 計					
	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計		
昭和50年	33	35	68		45	35	80		32	23	55		56	47	103		81	55	136		247	195	442		
昭和60年	33	33	66		15	16	31		17	20	37		32	45	77		56	47	103		153	161	314		
平成 7 年	25	27	52		20	19	39		12	18	30		40	44	33		117	68	64		132	40	169	161	370
平成12年	25	41	66		17	16	26		59	19	17		36	45	40		33	118	56		49	105	62	156	166
平成17年	13	17	30	15	13	10	38	10	14	12	36	30	18	34	82	58	56	71	185	113	114	144	371		
平成22年		駿河小山幼稚園						12	11	7	30	22	26	24	72	47	59	46	152	100	108	97	305		
平成24年								11	4	12	27	30	24	22	76	40	67	51	158	102	119	106	327		
平成25年								8	11	4	23	26	34	24	84	33	37	58	128	78	104	110	292		
平成26年								9	9	12	30				42	42	38	122	68	64	71	203			
平成27年								8	10	9	27				30	46	29	105	55	73	51	179			
平成28年								5	8	10	23				22	27	39	88	45	53	67	165			

※平成22年4月1日：小山幼稚園と駿河幼稚園の統合により駿河小山幼稚園として開園。

※平成26年3月31日：北郷幼稚園廃止。平成26年4月1日：きたごう保育園と統合によりきたごうこども園開園。

10 保育園・こども園在園者数の推移

(各年度4月1日現在)

区分 年度	(旧) 藤曲保育園							いきど保育園							すがぬま保育園						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
昭和50年	12						90	14						88	14						110
昭和60年	8						90	1						99	11						110
平成7年	2						30	1						56	4						52
平成12年								0	5	11	20	14	20	70	2	8	12	14	15	15	66
平成17年								3	7	6	20	11	17	64	2	12	15	19	20	16	84
平成22年								0	5	13	11	13	12	54	5	6	18	22	25	21	97
平成24年								2	9	5	13	15	14	58	1	7	14	17	20	21	80
平成25年								3	9	13	9	13	13	60	5	10	11	16	16	20	78
平成26年								3	3	12	12	8	14	52	5	10	17	14	15	18	79
平成27年								0	10	8	13	13	8	52	1	12	15	16	12	15	71
平成28年								3	5	7	8	13	14	50	5	8	12	18	16	14	73

※平成9年3月31日：藤曲保育園廃止。

区分 年度	きたごう保育園							すばしり保育園							合 計						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
昭和50年	17						108	7						89	64						485
昭和60年	11						142	16						97	47						526
平成7年	13						80	7						55	27						252
平成12年	2	4	11	21	27	20	85	4	10	9	10	22	17	72	8	27	43	65	78	72	293
平成17年	2	7	10	30	21	22	92	3	15	17	15	27	5	82	10	41	48	84	79	60	322
平成22年	7	13	12	27	23	18	100	5	13	16	12	15	12	73	17	37	59	72	76	63	324
平成24年	3	16	18	30	17	26	110	1	16	15	19	22	18	91	7	48	52	79	74	79	339
平成25年	7	16	23	24	28	18	116	3	8	21	25	25	22	104	18	43	68	74	82	73	358
平成26年	きたごうこども園							3	10	10	23	24	20	90	14	42	63	96	98	115	428
平成27年	5	17	20	56	47	49	194	5	6	13	12	21	21	78	11	45	56	97	93	93	395
平成28年	5	15	23	41	56	48	188	3	13	9	18	13	20	76	16	41	51	85	98	96	387

※平成26年3月31日：きたごう保育園廃止。平成26年4月1日：北郷幼稚園と統合によりきたごうこども園開園。

1 1 教職員の構成

平成28年5月1日現在（単位：人）

職 名 \ 区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	4	1	5	3		3	7		7
教 頭	3	2	5	2	1	3	5	3	8
教 諭	33	(2) 27	(2) 60	23	(1) 9	32	56	(3) 36	(3) 92
養 護 教 諭		5	5		3	3		8	8
講 師	1	5	6		2	2	1	7	8
栄 養 教 諭		2	2					2	2
事 務 職 員		5	5	2	1	3	2	6	8
非 常 勤 講 師		9	9		6	6		15	15
カウ ン セ ラ ー (非常勤)					2	2		2	2
合 計	41	(2) 56	(2) 97	30	(1) 24	(1) 54	71	(3) 80	(3) 151
町 費 職 員		1	1		1	1		2	2
町非常勤講師 (支援員含)		16	16		3	3		19	19
町 臨 時 職 員 (事務・用務・給食員等)		28	28		14	14		42	42

()は産休・育休職員、内数

1 2 中学校卒業後の進路

	小山中学校				北郷中学校				須走中学校				合 計			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
7年度	141			141	89	1		90	35			35	265	1		266
	100.0			100.0	98.9	1.1		100.0	100.0			100.0	99.6	0.4		100.0
12年度	150		1	151	70			70	34			34	254	0	1	255
	99.3		0.7	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.6	0.0	0.4	100.0
16年度	109	1	2	112	65	2		67	47		2	49	221	3	4	228
	97.3	0.9	1.8	100.0	97.0	3.0		100.0	95.9		4.1	100.0	96.9	1.3	1.8	100.0
17年度	83	1		84	69	2		71	37			37	189	3		192
	98.8	1.2		100.0	97.2	2.8		100.0	100.0			100.0	98.4	1.6		100.0
19年度	90	3		93	79	2		81	45			45	214	5		219
	96.8	3.2		100.0	97.5	2.5		100.0	100.0			100.0	97.7	2.3		100.0
20年度	81	1	1	83	62	2		64	46			46	189	3	1	193
	97.6	1.2	1.2	100.0	96.9	3.1		100.0	100.0			100.0	97.9	1.6	0.5	100.0
21年度	117	1	1	119	50			50	49			49	216	1	1	218
	98.4	0.8	0.8	100.0	100.0	0.0		100.0	100.0			100.0	99.1	0.5	0.5	100.0
22年度	83	1	1	85	67			67	43			43	193	1	1	195
	97.6	1.2	1.2	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.0	0.5	0.5	100.0
23年度	88	3		91	64			64	39			39	191	3	0	194
	96.7	3.3	0.0	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	98.5	1.5	0.0	100.0
24年度	103			103	53			53	36	1		37	192	1	0	193
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			100.0	97.3	2.7		100.0	99.5	0.5	0.0	100.0
25年度	93			93	61			61	46	1		47	200	1	0	201
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			100.0	97.9	2.1		100.0	99.5	0.5	0.0	100.0
26年度	76			76	51			51	28	1		29	155	1	0	156
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			100.0	96.6	3.4		100.0	99.4	0.6	0.0	100.0
27年度	76	1		77	40	1		41	40	0		40	156	2	0	158
	98.7	1.3	0.0	100.0	97.6	2.4	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	98.7	1.3	0.0	100.0

1 3 今後5か年の就学児童推定表

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
成美小学校	152	152	152	151	140
明倫小学校	129	124	119	112	111
足柄小学校	97	101	98	92	94
北郷小学校	313	318	320	322	320
須走小学校	256	281	281	287	278
合 計	947	976	970	964	943

「平成28年度以降の児童数等調査より」

1 4 就学奨励援助

教育の機会均等を確保するため、要保護及び準要保護者に対して、就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支援しています。さらに、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の振興のために奨励費を支給しています。

(1) 平成28年度要保護及び準要保護児童・生徒数

平成28年5月1日現在

学 校 名	児童生徒総数	要保護	準要保護	計	援助率
成 美 小 学 校	152 人	人	13 人	13 人	8.55 %
明 倫 小 学 校	132		16	16	12.12
足 柄 小 学 校	97		1	1	1.03
北 郷 小 学 校	317		8	8	2.52
須 走 小 学 校	268		10	10	3.73
小 学 校 計	966	0	48	48	4.96
小 山 中 学 校	212		19	19	8.96
北 郷 中 学 校	156		9	9	5.76
須 走 中 学 校	92		4	4	4.34
中 学 校 計	460	0	32	32	6.95
区域外通学者(中学生)					-

(2) 平成27年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費実績

(単位：円)

校 種 別 区 分		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学 用 品 費 通 学 用 品 費 校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	第 1 学 年	8	100,386	11	258,192
	その他の学年	47	657,557	14	349,440
	計	55	757,943	25	607,632
校外活動費（宿泊を伴うもの）		5	5,257	16	72,035
新入学児童生徒学用品費 等		8	159,200	10	229,650
修 学 旅 行 費		11	294,699	8	478,533
医 療 費			0		0
学 校 給 食 費		55	2,524,984	25	1,390,480
合 計			3,742,083		2,778,330

(3) 平成28年度特別支援学級在籍者数

平成28年5月1日現在

学 校 名	在籍者
明 倫 小 学 校	3
北 郷 小 学 校	4
須 走 小 学 校	12
小 学 校 計	19
小 山 中 学 校	5
北 郷 中 学 校	0
須 走 中 学 校	1
中 学 校 計	6

(4) 平成27年度特別支援教育就学奨励費実績

(単位：円)

校 種 別 区 分		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学校給食費		10	238,656	9	255,346
交 通 費	通学費 (自家用車)	0	0	2	103,400
	交流学习費	10	9,730	7	7,920
修学旅行費		0	0	3	82,200
校 外 活 動 費	宿泊なし	9	6,795	5	5,450
	宿泊あり	0	0	5	14,600
新入学児童生徒学用品費等		1	9,950	1	11,450
学用品等購入費	新入学年	1	1,850	1	3,630
	その他学年	9	49,950	8	86,800
合 計			316,931		570,796

1 5 育英奨学資金

教育委員会では、昭和38年度に「小山町育英奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例」を制定し、将来の有望な人材を育成することを目的として、優良な生徒で経済的理由によって修学が困難な学生に毎年、学資を貸与しています。

現在の貸与金額は、大学生が月額30,000円、高校生が12,000円で卒業後1年間据え置き、2年目から元金のみを3年から5年以内で返還していただいています。

年度	年度当初育英奨学資金原資	新規採用者		貸付者総数		貸与金額 (決算)	償還状況		年度末貸与金額総額
		高校	大学	高校	大学		人数	金 額	
8	15,215,433		2	1	7	2,640,000	5	1,045,000	9,200,000
9	17,235,776		4		11	3,960,000	3	735,000	12,425,000
10	18,171,504		5	1	17	4,680,000	4	1,047,000	16,058,000
11	18,178,870		3	1	19	3,600,000	10	6,311,000	13,347,000
12	18,178,870		1	1	19	3,240,000	9	1,923,000	14,664,000
13	21,189,949		2	1	20	2,520,000	9	1,920,000	15,264,000
14	24,296,608		2		19	2,160,000	13	3,048,000	14,376,000
15	26,296,937	1		1	18	1,224,000	15	4,032,000	11,568,000
16	27,017,043		1	1	16	1,224,000	12	3,000,000	9,792,000
17	26,797,196		3	1	15	2,160,000	10	2,286,000	9,666,000
18	27,297,359		1	1	16	1,800,000	10	2,284,000	9,182,000
19	27,407,409		3	1	16	2,880,000	9	2,270,000	9,792,000
20	27,454,357		1		14	2,880,000	5	1,296,000	11,376,000
21	27,510,256		4		16	3,240,000	4	1,152,000	13,464,000
22	27,539,662	1	3	1	18	3,744,000	7	2,300,000	14,908,000
23	27,550,006	1	4	2	16	2,988,000	8	2,588,000	15,308,000
24	27,555,171	1	7	3	25	5,652,000	10	3,404,000	17,556,000
25	27,559,018	1	2	2	24	4,968,000	10	3,288,000	19,236,000
26	27,561,295	1	2	2	23	4,692,000	13	3,161,000	20,767,000
27	28,607,603		3	1	17	4,824,000	13	2,744,000	22,847,000

1 6 学校保健

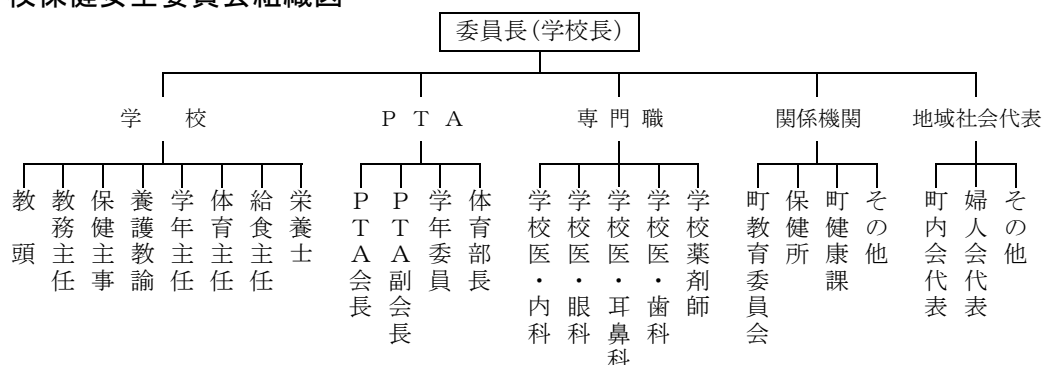
こどもたちの健康保持と増進のため、内科検診をはじめとした各種の健康診断を実施しています。また、各学校ごとに学校保健安全委員会を組織し、保健計画に基づいた安全対策と健康増進を図っています。

さらに、平成18年度から学校専門相談医制度を導入し、専門的技術指導の充実及び推進に努めています。

(1) 町の保健事業計画

- ① 定期健康診断
- ② 尿検査（対象：小・中・幼全員）
- ③ 心音心電図(心臓)検診（対象：小1、中1）
- ④ 脊柱側弯症検診
- ⑤ 運動器検診
- ⑥ 結核健康診断
- ⑦ 就学時健康診断
- ⑧ 就園時健康診断
- ⑨ 教職員健康診断

(2) 学校保健安全委員会組織図



(3) 校医・校歯科医・校薬剤師一覧（平成28年度）

	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
成美小学校	岩田祥吾	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野将之	長須賀清美
明倫小学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	大木長生	長須賀清美
足柄小学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野義晃	芹澤一男
北郷小学校	友成正明	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	鈴木徳夫	長須賀清美
須走小学校	田内守之	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	斉藤康裕	田嶋 ゆかり
小山中学校	岩田祥吾	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野将之	芹澤一男
北郷中学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	鈴木徳夫	芹澤一男
須走中学校	安田敏男	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	斉藤康裕	田嶋 ゆかり
駿河小山幼稚園	岩田祥吾			大木長生	長須賀清美
足柄幼稚園	中川靖夫			小野義晃	芹澤一男
須走幼稚園	田内守之			斉藤康裕	田嶋 ゆかり
いきど保育園	岩田祥吾			小野義晃	
すがぬま保育園	中川靖夫			大木長生	
すばしり保育園	安田敏男			村井恵太	
きたごうこども園	中川靖夫			村井恵太	芹澤一男

(4) 児童・生徒の体格

(平成27年度)

区 分			小 学 校						中 学 校		
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年
男 子	身長 cm	町	116.0	121.8	127.6	132.7	138.2	● 144.7	◎ 152.6	● 159.5	163.9
		県	116.3	122.0	128.1	132.9	138.4	144.6	152.2	158.9	164.6
		全国	116.5	122.4	128.0	133.6	138.9	145.1	152.5	159.7	165.1
	体重 kg	町	◎ 21.6	● 23.6	◎ 27.6	◎ 31.1	● 33.9	◎ 38.5	● 43.3	◎ 49.7	● 53.3
		県	21.1	23.4	27.1	29.6	33.3	37.5	43.1	47.6	53.0
		全国	21.3	24.0	27.0	30.4	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9
	座高 cm	町	◎ 64.9	66.9	◎ 70.3	● 72.4	● 74.9	77.2	◎ 81.6	◎ 85.5	87.9
		県	64.8	67.4	70.1	72.2	74.7	77.4	81.4	84.7	88.0
		全国	64.8	67.6	70.2	72.6	74.9	77.6	81.3	84.9	88.1
女 子	身長 cm	町	115.1	120.2	◎ 128.3	131.7	138.8	146.1	151.4	154.6	◎ 156.9
		県	115.4	121.5	127.2	133.1	139.9	146.7	151.6	154.9	156.2
		全国	115.5	121.5	127.4	133.4	140.1	146.8	151.8	154.8	156.4
	体重 kg	町	◎ 21.1	22.7	◎ 27.7	28.9	32.4	38.3	● 43.2	◎ 48.4	● 49.9
		県	20.8	23.3	26.3	29.3	33.7	38.7	43.0	47.0	49.3
		全国	20.8	23.4	26.4	29.8	34.0	39.0	43.6	47.2	50.0
	座高 cm	町	64.4	66.6	◎ 70.6	71.8	75.2	78.8	81.8	○ 83.9	84.9
		県	64.4	67.2	69.8	72.4	75.8	79.4	82.0	84.0	85.1
		全国	64.4	67.2	69.9	72.6	75.8	79.3	82.1	83.8	84.9

※ 県平均及び全国平均は、平成25年度文部科学省学校保健統計調査値。

○は全国平均を上回る。 ●は県平均を上回る。 ◎は全国平均・県平均を上回る。

17 日本スポーツ振興センター

(1) 月別災害発生件数

(平成27年度)

区分	在籍数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被災率
成美小	165													0	0.0%
明倫小	147			1					1	1	2			5	3.4%
足柄小	102		2	1										3	2.9%
北郷小	303		3	3				2	1		1	1		11	3.6%
須走小	284		1	1										2	0.7%
計	1,001	0	6	6	0	0	0	2	2	1	3	1	0	21	2.1%
小山中	214	1	2	3	5	1		2	4	2	3			23	10.7%
北郷中	158	2	1	1	1	1	1	2	3	1		1	2	16	10.1%
須走中	110				1					1		3		5	4.5%
計	482	3	3	4	7	2	1	4	7	4	3	4	2	44	9.1%
幼稚園	179								1			1	1	3	1.7%
保育園	397			1				1	2	1	1			6	1.5%
合計	2,059	3	9	11	7	2	1	7	12	6	7	6	3	74	3.6%

※こども園の短時間利用児は幼稚園、長時間利用児は保育園に含む。

(2) 学年別災害発生件数

(平成27年度)

校種	学年別	在籍数	件数	発生率
小学校	1	189	4	2.1%
	2	173	2	1.2%
	3	169	4	2.4%
	4	169	4	2.4%
	5	145	2	1.4%
	6	156	5	3.2%
中学校	1	148	14	9.5%
	2	175	20	11.4%
	3	159	10	6.3%
幼稚園		179	3	1.7%
保育園		397	6	1.5%

(3) 負傷別・疾病件数

(平成27年度)

種類	小学校	中学校	幼稚園	保育園	合計
骨折	9	15	1	2	27
捻挫	1	11			12
脱臼				3	3
挫傷・打撲	6	12	1		19
靱帯損傷・断裂		4			4
挫創	2		1	1	4
切創	1				1
刺創					0
割創					0
裂創					0
擦過創					0
熱傷・火傷	1	1			2
歯牙破折					0
その他					0
負傷	20	43	3	6	72
疾病	1	1			2
計	21	44	3	6	74

1 8 学校給食

(1) 経過

小山町の学校給食は、昭和21年に粉乳給食を開始した。さらに子供たちの体位向上を求めて完全給食の実施を望む声があり、昭和30年11月に須走小学校、昭和37年4月成美小学校・明倫小学校・足柄小学校に、同年5月北郷小学校にと町内5つの小学校で、単独校方式の完全給食を開始した。

- ・昭和59年9月：成美小に当町初のドライシステム方式を採用。
- ・昭和60年9月：明倫小にドライシステム方式を採用。
- ・昭和61年10月：足柄小ドライシステム方式を採用し食堂型の給食棟とする。

平成9年2月から北郷中学校で、平成9年4月から小山中学校で、食堂を備えた単独校方式による完全給食を開始した。

つづいて、須走中も平成10年4月から須走小・中学校共同の食堂を備えた給食施設での完全給食を開始した。

(2) 給食費

(平成28年度)

区 分	小 学 校	中 学 校
給食費（1人1か月当たり）	4,400 円	5,300 円
給食費徴収回数（年間）	11 回	11 回
給食回数（年間）	183 回	181 回
単 価（1食当たり）	264円 48銭	322円 10銭



ランチルームでの給食

Ⅳ 社会教育

1 社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき教育委員会が委嘱している。

職務は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての意見具申及びこれらの客観的判断をするための調査・研究などがある。

「小山町社会教育委員条例」では、定数を15人以内、任期を2年と定めている。

任期 平成30年3月31日

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	高 橋 豊 宏	学識経験者
副 委 員 長	嶋 田 喜 見 代	学識経験者
委 員	湯 山 久	学識経験者
〃	高 村 芳 章	小山町校長会（小学校長代表）
〃	岩 瀬 次 夫	小山町校長会（中学校長代表）
〃	原 秀 人	小山町社会福祉協議会
〃	山 崎 繁	陸上自衛隊富士学校
〃	渡 邊 光 子	小山町文化連盟
〃	近 藤 勝 正	小山町体育協会
〃	湯 山 峯 子	小山町立図書館
〃	樽 林 一 美	小山町文化財保護審議会
〃	池 谷 よ ね 子	小山町連合婦人会
〃	相 原 正 和	小山町PTA連合会
〃	湯 山 一 義	小山町子ども育成連合会長
〃	濱 田 敏 彦	ボーイスカウト代表

2 生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、超高齢化社会になっている中で、一人ひとりが知識や技術を伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、町民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から社会教育の推進を図っていく。

(1)生涯学習推進委員会委員

任期 当然職在職中

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	田 代 章	副町長
副委員長	天 野 文 子	教育長
〃	高 橋 豊 宏	社会教育委員長
委 員	嶋 田 喜 見 代	社会教育委員
〃	湯 山 久	〃
〃	高 村 芳 章	〃
〃	岩 瀬 次 夫	〃
〃	原 秀 人	〃
〃	山 崎 繁	〃
〃	渡 邊 光 子	〃
〃	近 藤 勝 正	〃
〃	湯 山 峯 子	〃
〃	樽 林 一 美	〃
〃	池 谷 よ ね 子	〃
〃	相 原 正 和	〃
〃	湯 山 一 義	〃
〃	濱 田 敏 彦	〃
〃	長 田 健 男	老人クラブ代表
〃	湯 山 博 一	企画総務部長
〃	秋 月 千 宏	住民福祉部長
〃	池 谷 精 市	経済建設部長
〃	田 代 順 泰	教育部長
〃	小 野 正 彦	こども育成課長
〃	山 本 智 春	生涯学習課長

(2)生涯学習課施設関係

① 総合文化会館



小山町阿多野130
 27, 213. 24㎡(体育館を含む)
 5, 627. 35㎡
 7, 835. 48㎡
 996席 車椅子6席 母子11席
 平成4年2月
 76-5700

総合文化会館は、平成4年に開館して以来、毎年多くの方々に利用していただいているが、更に内容の充実を図るなど、町民の生涯学習拠点づくりを進める。
 平成27年度からは、指定管理者による管理を行っている。

- ② 総合体育館・小山球場・多目的広場・弓道場・小山道場・夜間照明施設の体育施設は、平成27年度からビル保善・シンコー・よしもと運営グループを指定管理者として管理運営するとともに、体育協会等との連携により、各種教室や大会等を開催し、有効利用を図っている。パークゴルフ場については、平成27年度から生涯学習課が管理運営している。
- ③ 「夢ひろば」の発行
生涯学習事業のPR、利用促進につなげていくために、毎月「夢ひろば」を広報おやまに掲載する。
- ④ 施設利用の利便性の充実のための職員対応
利用者の利便性の充実のために次の対応を行う。
平成27年度から指定管理者による管理運営を行い、民間のノウハウを導入した利用者へのサービスを提供している。また、指定管理者の導入により、町費の経費削減が可能となっている。

(3)生涯学習関係事業計画

生涯学習推進と啓発のため次の事業を行う。

- ・推進組織の充実とネットワークづくり・生涯学習の啓発・生涯学習情報提供
- ① 啓発のための講演会開催
- ・と き 平成28年秋季（予定）
 - ・ところ 総合文化会館 金太郎ホール
 - ・講 師 やくみつる（漫画家）
- ② 生涯学習フェスティバル
- ・と き 平成29年2月25日（土）～26日（日）
 - ・ところ 総合文化会館
 - ・内 容 趣味教室、団体体験、実演、展示等
- ③ 情報提供チラシの各戸配布、ポスターの各区掲示

(4)成人教育

- ① 家庭教育学級の開設奨励と指導
幼稚園、こども園、小学校、中学校PTA会員を対象に開設し、家庭教育の充実を図るとともに、児童の健全育成を進める。
- ・回数等 年間8～10回 1回2時間程度
 - ・学 級 幼稚園3学級 こども園1学級 小学校5学級 中学校3学級 計12学級
- ※学習目標、プログラム等は学級運営委員会で企画、実行する。
※プログラム内容は、「親と子のかかわり」や「親の姿勢」を中心課題とする。
- ② 成人団体、グループ活動を奨励指導
町内成人団体活動を奨励し、連帯感のある地域づくりを図る。
- ③ こども相談室(なのはな)
家庭を中心とした子どものしつけ、教育、地域問題、親の在り方等に関する教育相談をこども相談員が行う。

- ・会 場 きたごうこども園内 面接指導または電話相談

④ 婦人団体の活動援助

自主的な学習活動と地域活動を行う婦人団体を援助し、その活性化を図る。

⑤ 「家庭の日」の啓発

家庭教育の一環としての有意義な過ごし方を考え実行する機会とする。

- ・と き 毎月第3日曜日

(5) 青少年教育

① 青年団体との連携

連合青年団等の青年活動の活性化と地域活動への参加を促進する。

- ・内 容 富士山環境整備美化奉仕 宿泊研修 スポーツ大会
成人式の運営支援等

② 成人式の実施

- ・と き 平成29年1月8日(日) 10:00～11:45
- ・ところ 総合文化会館 金太郎ホール
- ・内 容 式典等

③ 青少年問題協議会の開催

関係機関、団体相互の連絡調整機関としての働きを基盤に青少年の健全育成と青少年の諸問題を協議する。

- ・各種団体から青少年の実情を発表し、問題提起と情報共有等を行う。

④ 青少年健全育成の推進

健やかな青少年の育成をめざして、地域住民の意識の高揚と活動を活性化させるための事業を推進する。

- ・内 容 青少年健全育成チラシ配布 青少年補導の実施

⑤ 青少年補導員活動の推進

青少年健全育成のための補導活動と関係機関団体との連絡をとり、住みよい環境づくりを進める。

- ・内 容 補導員会議開催 夏祭り巡回 県内一斉補導の実施
声かけ運動への参加

(6) 青少年問題協議会委員

任期 平成30年3月31日

役 職	氏 名	所 属
会 長	込 山 正 秀	小 山 町 長
副 会 長	米 山 千 晴	議 会 議 長
〃	天 野 文 子	教 育 長
委 員	田 代 章	副 町 長
〃	渡 辺 悦 郎	議 会 文 教 厚 生 委 員 長
〃	高 橋 豊 宏	社 会 教 育 委 員 長
〃	岩 田 司	小 山 町 区 長 会 長
〃	小 野 寛 幸	小 山 町 商 工 会 長
〃	池 谷 よ ね 子	小 山 町 連 合 婦 人 会 長
〃	渡 邊 武 夫	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 会 長
〃	鈴 木 宏 哉	御 殿 場 警 察 署 長
〃	山 本 修 也	御 殿 場 警 察 署 小 山 交 番 長
〃	長 田 秀 昭	保 護 司 （ 小 山 支 部 長 ）
〃	山 崎 繁	富 士 学 校 総 務 課 長
〃	藤 田 貴 久	須 走 小 学 校 長
〃	勝 俣 純	北 郷 中 学 校 長
〃	綾 部 信 明	小 山 高 等 学 校 長
〃	滝 口 覚 郎	青 少 年 補 導 員 代 表
〃	相 原 正 和	小 山 町 PTA 連 合 会 長
〃	湯 山 一 義	小 山 町 子 ど も 会 育 成 連 合 会 長
〃	島 村 将 史	小 山 町 連 合 青 年 団 長

(7) 青少年補導員

任期 平成29年3月31日

役 職	氏 名	役 職	氏 名
補導員代表	滝 口 覚 郎	補 導 員	渡 邊 宏 俊
補 導 員	妹 尾 浩 之	〃	田 村 幸 司
〃	田 代 哲 也	〃	勝 俣 光 志
〃	杉 山 明 生	〃	近 藤 昌 子
〃	室 伏 勉	〃	遠 藤 園 子
〃	長 野 貴 司	〃	和 田 敬 子
〃	勝 又 康 二	〃	湯 山 一 義
〃	坂 本 竹 人		

3 芸術文化

(1) 趣味の教室・講座の開設

誰でも楽しめるテーマで講座を開設し、町民が気軽に参加できる機会を提供する。

①町民講座

- ・内 容 小山町立図書館所蔵『安田コレクション』と世界遺産富士山
- ・と き 平成28年8月19日（金）・9月9日（金）・10月21日（金）

②ふるさと発見講座

- 「小山町での天体観測」・夏の天体
- ・と き 平成28年8月5日（金）
- 「宇宙建築について」
- ・と き 平成28年8月10日（水）

(2) 児童対象事業の実施

児童館を廃止したが、子供たちに豊かな遊びを与え、健康を維持し、情操を豊かにするため、児童の健全な育成と福祉の向上を推進する。

月	事 業 名	月	事 業 名
4	ぺんぎんランド	10	ハロウィンパーティー ぺんぎんランド
5	ぺんぎんランド 子ども会ボランティア活動	11	ぺんぎんランド
6	父の日プレゼント作り ぺんぎんランド	12	わくわくクッキング① 町子連写生画表彰式 クリスマス会 ぺんぎんランド
7	ぺんぎんランド 町子連親善球技大会	1	ぺんぎんランド
8	おもしろ科学教室①, ② ぺんぎんランド	2	わくわくクッキング② ぺんぎんランド 生涯学習フェスティバル
9	ぺんぎんランド	3	ぺんぎんランド

(3) 町民文化祭の開催等

文化活動の成果発表の機会として実行委員会を設け文化祭を開催する。

- ・と き 平成28年10月15日（土）・16日（日）
- ・ところ 総合文化会館
- ・内 容 文芸 華道 書道 絵画 陶芸 盆栽山草 写真 手芸 茶道等
小山町各小中学校、小山高校、婦人会、勝央町、福知山市 等
- ・第60回記念セレモニー ・大箕正之氏作品展示 ・ミッション市ステージ
- ・第60回文化展 ・第41回音楽祭 ・第34回舞踊祭 ・第21回囲碁祭
- ・第18回民踊祭 ・第18回歌謡祭 ・第11回ダンスフェスタ

(4) 町民文芸誌の発行

文芸誌「駿河路」第85号を発行する。

・内 容 創作 紀行文 随筆 詩 俳句 短歌 川柳

(5) 第38回駿河路のつどい開催

短歌、俳句、川柳を同一会場で開催し、文芸に親しむ愛好者の拡大を図る。

・期 日 平成28年10月26日（水）

・会 場 総合文化会館 集会室他

4 文化財保護

(1) 指定文化財の保護

町内の国指定文化財2件、国登録文化財8件、県指定の文化財5件、町指定文化財18件の保護保全に努める。

(2) 文化財の発掘

文化財保護審議会委員を中心に埋もれた郷土の文化財を発掘し、後世に残るよう努める。
また、図書館との連携により地域史資料の収集、保存に努める。

(3) 郷土芸能の育成援助

郷土芸能である「竹之下太鼓」と「大富士公時太鼓」の活動援助のための助成を行う。

(4) 文化財の調査

埋蔵文化財、古文書等の文化財調査を実施し、町民への周知を図る。

(5) 文化財保護審議会委員

役 職	氏 名	任 期
委 員 長	樽 林 一 美	平成30年3月31日
副 委 員 長	大 箕 正 之	〃
委 員	湯 山 富 士 子	〃
〃	鈴 木 利 昌	〃
〃	蘆 月 玄 成	〃
〃	高 梨 俊 夫	〃
〃	池 谷 岩 夫	〃
〃	田 代 隆 昭	〃
〃	高 田 國 輝	〃

(6) 町内の文化財

① 国指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
特 別 名 称	富 士 山	S27. 11. 22	富士山須走口旧馬返しより上方の山体が該当
史 跡	富 士 山	H23. 2. 7	富士浅間神社及び須走口五合目以上の登山道が該当

② 国登録文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建 造 物	豊門会館(和室)	H17. 11. 10	藤曲144-8 明治42年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建 造 物	豊門会館(洋館)	H17. 11. 10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建 造 物	豊門公園西洋館	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建 造 物	豊門公園正門	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げの門柱。
建 造 物	豊門公園噴水泉	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げで石積み風に目地を入れている。
建 造 物	豊門公園和田君遺徳碑	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。朝倉文夫による独特な意匠。
建 造 物	森 村 橋	H17. 11. 10	小山133-6 明治39年建設。鋼製ブラットトラス方式。設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建 造 物	村松家住宅主屋	H20. 7. 8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

③ 県指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
彫 刻	宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像	S60. 3. 19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内刳・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
天 然 記 念 物	富士浅間神社のハルニレ	S38. 2. 19	須走126 幹廻4m・樹高24.5m
天 然 記 念 物	大胡田天神社のイチヨウ	S41. 3. 22	大胡田643 幹廻7.6m・樹高20m
天 然 記 念 物	上野のトチノキ	S41. 3. 22	上野299 幹廻7m・樹高40m
天 然 記 念 物	柳島八幡神社の二本杉	S42. 10. 11	柳島168 幹廻5.2m・樹高31m・幹廻5.5m・樹高36m

④ 町指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建 造 物	甘露寺宝篋印塔	S48. 10. 25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建 造 物	嘉慶銘宝篋印塔	S63. 12. 16	菅沼2112-2 梅林内に位置する。
建 造 物	栗の木沢の唯念名号碑	H3. 5. 1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建 造 物	栗の木沢の題目碑	H4. 6. 1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m 厚さ:中0.42m下0.6m
建 造 物	富士山東口本宮富士浅間神社社殿	H18. 8. 24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拝殿が一体化しているという特徴を有す。
史 跡	乗光寺大森六代之墓	S48. 10. 25	生土234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
無形民俗文化財	竹之下太鼓	S59. 12. 21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに端を発する。

天 然 記 念 物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58. 5. 1	湯船371 大:根廻7.5m・目通5.65m・樹高35m 小:根廻5.6m・目通4.26m・樹高30m・樹齢約250年
天 然 記 念 物	上野神明社のアカガシ	S58. 5. 1	上野178 根廻6.1m・目通5.1m・樹高20m・樹齢約300年
天 然 記 念 物	富士浅間神社のエゾヤマザクラ	S58. 5. 1	須走126 根廻2.08m・目通1.75m・樹高8m・樹齢約110年
天 然 記 念 物	富士浅間神社の根上りモミ	H3. 5. 1	須走126 根廻4.6m・目通3.1m・樹高27m・樹齢約300年
天 然 記 念 物	棚頭産神社のスギ	S63. 12. 16	棚頭714 甲:根廻6.45m・目通5.6m・樹高23m 乙:根廻6.4m・目通5.2m・樹高23m・樹齢約400年
天 然 記 念 物	用沢八幡宮の三本スギ	S63. 12. 16	用沢517 根廻10.3m・目通:甲3.4m・乙5m 丙3.5m・樹高約30m・樹齢約300年
彫 刻	坂下区十王堂地藏菩薩坐像	H21. 12. 16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箔 肉身金泥塗り、玉眼 像高:34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期
絵 画	坂下区十王堂十王図	H21. 12. 16	菅沼707-1 紙本着色・紙継ぎなし 表装後補 縦:111.4～112.0cm 横:37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書 跡・典 籍・古 文 書	坂下区十王堂木食観正宝号軸	H21. 12. 16	菅沼707-1 絹本墨書・絹継ぎなし 布表装 作者:木食観正 縦:67.9cm 横:33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年)頃
彫 刻	坂下区十王堂石仏	H21. 12. 16	菅沼707-1 17体 丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高:25.8～41.8cm 延宝8年(1680年)を遡る江戸時代初期
建 造 物	藤曲浅間神社の二宮金次郎墓碑	H27. 9. 25	藤曲168 1基 高さ:171.2cm、幅:98.1cm、 奥行き:66.5cm 年代:安政4年(1857)11月 墓石の形状は、二宮の「一円融合」の思想を表す



小山町指定文化財「富士浅間神社社殿」

5 小山町文化財地名表

	遺 跡 名	時 代	種 別	所 在 地	地 目	遺 構	遺 物	文 献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第1巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究1
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ヶ腰)	中世	城館	竹之下字城ヶ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコージ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・柵列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礫	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワデ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワデ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空堀・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠Ⅰ遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠Ⅱ遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	堅土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	富士山	特別名勝・史跡						

6 図書館



所在地	小山町阿多野130
建物面積	951.23㎡
蔵書数	110,945冊（H27.4.1現在）
開設	平成4年4月
電話番号	76-4270

町民の生涯学習の拠点として、常に身近にあって日々の暮らしに何らかの形で役に立つ図書館を目指し、さらに資料情報センターとしての役割を持ち、心豊かな人づくりをバックアップする図書館としての運営に努める。

(1) 資料の収集と整理

図書資料の充実を図るため、年間図書購入計画、寄贈図書の受け入れなどでその達成に努力する。

① 新刊本の選書等

新刊案内等により選書し、各分類別の平均化に配慮する。

利用者ニーズに応えるため、リクエストによる収集を行う。

② 郷土資料等の収集と保存管理

官公庁及び各種団体、企業、個人等が発行した郷土資料刊行物の収集と保存。

地域発行新聞・雑誌等を製本保存し、資料の蓄積に努める。

富士のある町として積極的に富士山資料の蓄積に努める。

③ 児童書等寄贈本の受け入れ整理

利用者からの寄贈本の受け入れを行う。

分類及び付帯装備と資料情報の電算入力作業。

④ 視聴覚資料の収集

AV資料の収集。

⑤ 廃棄図書の選択と整理事務

傷んだ本等を選択し除籍手続きをする。

ふれあい広場に合わせ、古雑誌市を開催する。

⑥ 蔵書点検・管理事務

年1回図書の移動、不明図書等把握のための点検作業を行い、蔵書管理に努める。

(2) 図書館活動・館内サービスの充実

資料情報センター及び生涯学習の拠点として、図書館資料を媒体とした活動を展開する。

① レファレンス等、利用者へのサービスに努める。

リクエストには、購入又は図書館の相互貸借を活用する。＝随時

平成27年度から検索システムを更新し、インターネット上で蔵書が確認可能となった。

② 読書グループ等の育成と援助

図書館ファンクラブ＝夏休み期間 定員20名(小学校3～6年生対象)

- ③ 絵本・紙芝居等の読み聞かせ
お話しコーナー＝館内利用者対象
- ④ 図書館ブックスタートの実施
メッセージを伝えながら絵本を手渡す、5・6か月児とその保護者を対象にした
“絵本を介しての子育て支援”を年6回実施
- ⑤ 図書館講座の実施
児童講演会、古典文学講座、図書館教養講座
- ⑥ 移動文庫、団体貸し出し
役場本庁と2支所に移動文庫を設置し、利用サービスに努める。
老人ホーム・幼稚園・学校等への団体貸し出しを奨励する。
- ⑦ ボランティア活動の育成
図書館活動協力員の募集＝活動通年 現在31名
絵本の読み聞かせと図書館整理
作業・ブックスタート
- ⑧ 「小山町の図書館」の発行
年1回、図書館の概要を示した小冊子を発行し図書館情報の広報に努める
- ⑨ 本のリサイクル市の開催
家庭における不用本のリサイクル市を行ない、町民サービスの向上を図る。
- ⑩ セカンドブック事業の実施
ブックスタート事業のフォローアップとして、町内小学校新入学児童に絵本を1冊ずつ贈呈。
- ⑪ 乳幼児・児童本(絵本等)の選定目録作成(よんでみて!この1冊)
館内及びPR用目録として200部作成し幼稚園、保育園、学校に配布。
- ⑫ 電算システムの運用
図書館電算システムの運用により、利用者用タッチパネルで検索が自由にできる。
- ⑬ 開館時間の延長
利用者の利便性をはかるため、毎週火～木曜日と日曜日は開館時間を午後6時まで、
金・土曜日は午後7時まで実施する。
- ⑭ 臨時学習室の開設
夏休み全日、学習者の利便をはかるために開館時間、臨時学習室を別室に随時
設ける。
- ⑮ 読書通帳の導入
平成27年度から読書活動の更なる推進のため、読書通帳を導入した。
- ⑯ 選書ツアーの開催
町立図書館に配架する図書を選書する体験を平成28年度から実施。

(3) その他

- ① 図書館を利用したいと思っている身体障害者等の図書館利用、弱者の方々への
サービスの提供について積極的に機材を用意し利用に努める。

7 社会体育

(1) 体育施設等の有効活用

平成27年度から「ビル保善・シンコー・よしもと運営グループ」が体育施設（パークゴルフ場を除く）の指定管理者として管理している。

また、体育協会との連携により、各種教室や大会等を開催し、社会体育の充実を図る。

(2) 体育関係団体との連携

スポーツ推進委員によるスポーツ推進の日を設け、ファミリーバドミントンを中心に、ニュースポーツの普及推進を図る。

体育協会や地区体育・スポーツ振興会との連携により、地域に根ざしたスポーツ活動を展開し、生涯スポーツの振興を図る。

(3) スポーツ推進委員の派遣

各種団体の要請により、スポーツ推進委員を派遣し、生涯スポーツの振興を図る。

(4) スポーツ推進委員

任期 平成30年3月31日

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委 員 長	関 富 芳	委 員	岩 田 大 輔
副委員長	眞 田 拓 史	〃	加 藤 卓 大
〃	武 藤 淳 一	〃	田 代 絵 吏
女性代表	高 杉 順 子	〃	市 原 功 也
委 員	桑 原 春 美	〃	芹 澤 孝 彦
〃	高 橋 千 里	〃	小 見 山 徹
〃	北 田 記 章	〃	松 本 陽 平

(5) 体育施設の開放

学校体育施設開放	年間(有料)
町民プール開放(無料)	7月26日(火)～8月24日(水) 成美小学校内プール
スポーツ推進の日	毎月第4金曜日の午後7時～午後9時

(6) 各種大会の開催

- ・教委関係
レクスボ祭
- ・体協関係

町民スポーツ祭、町民体育大会、富士マラソンフェスタ、町内一周駅伝大会及び周回コース駅伝大会、スポーツ少年団交流大会

(7) 各種教室、講習会の開催

スポーツ推進委員：スポーツ推進の日

ドッジボール教室、グランドゴルフ大会、かけっこ教室、なわとび教室、レクスポ審判講習会、ファミリーバドミントン代表強化練習等

(8) その他

駿東地区レクスポ大会、しずおかスポーツフェスティバル、静岡県市町対抗駅伝競走大会、国民体育大会等参加奨励、各種団体・大会への助成

(9) 小山町体育施設一覧

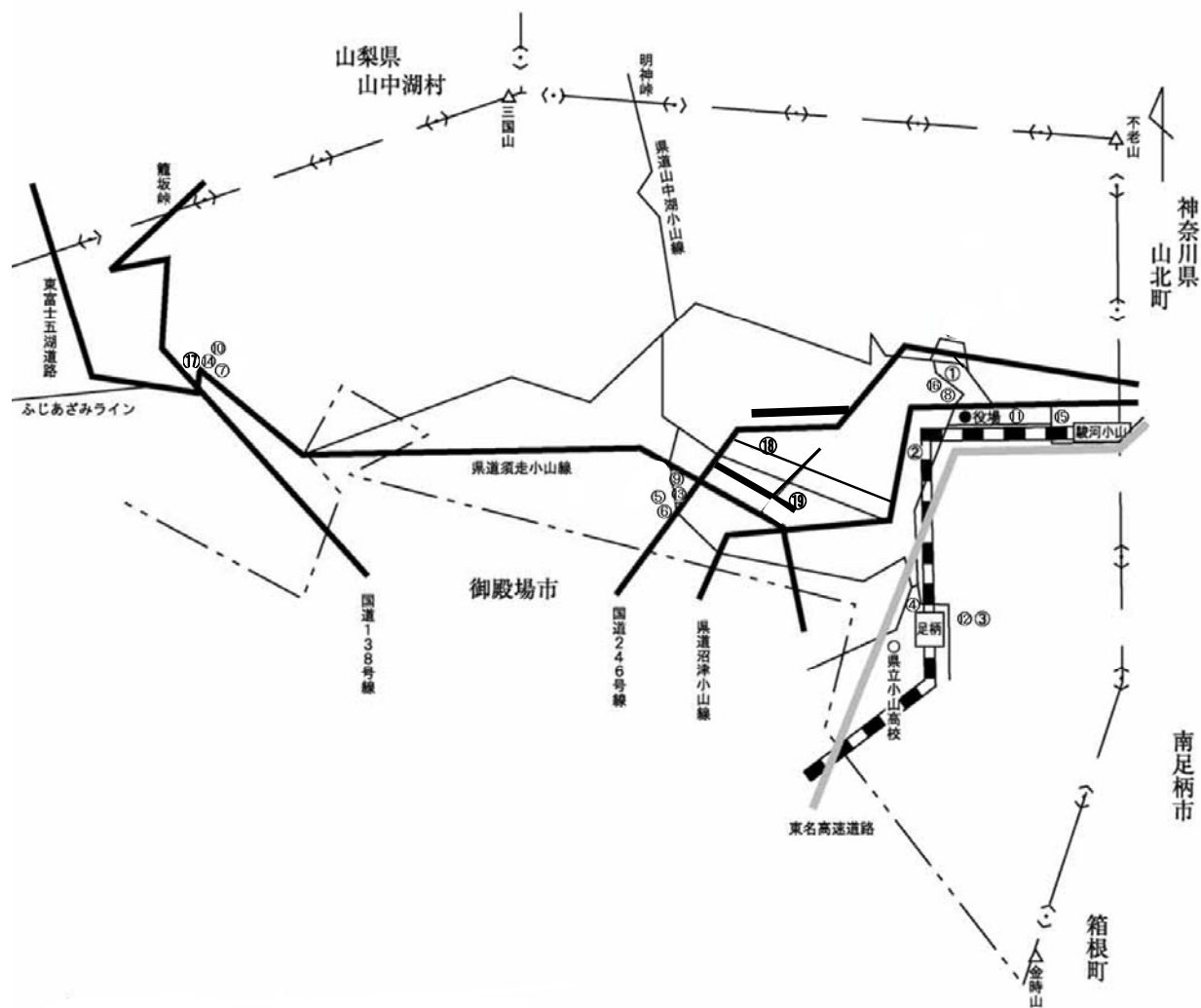
小山町総合体育館	所在地	小山町阿多野125
	敷地面積	27,214.24㎡（総合文化会館を含む）
	建物面積	1階 2,587.44㎡ 2階 976.27㎡ アリーナ 34m×54m 観覧席 288席
	延床面積	3,563.71㎡
	開設	平成8年4月
	電話番号	76-5708
小山町多目的広場	所在地	小山町吉久保40-1
	敷地面積	17,514㎡
	用途	400mトラック・サッカー・ ソフトボール・ゲートボール
	規模	屋外便所 70.0㎡ シェルター 48.0㎡
	開設	平成6年6月
小山球場	所在地	小山町阿多野35
	敷地面積	16,680㎡
	建物面積	535.84㎡ (管理棟 497.6㎡) (ダックアウト 19.12㎡×2) 観客席 780席
	グラウンド	両翼94m・中堅121.9m バックストップ 18.6m
	開設	平成6年6月
小山道場	所在地	小山町吉久保5-1
	敷地面積	427.67㎡
	建物面積	157.41㎡
	延床面積	167.13㎡
	開設	平成9年3月
小山町弓道場	所在地	小山町阿多野136-8
	敷地面積	1,285㎡
	建物面積	165.02㎡（射場 125.87㎡） （的場 39.15㎡）
	開設	平成6年4月

町民プール (成美小学校のプールを代替使用)	所 在 地	小山町藤曲150-2
	本 プ ー ル	①50m×15m
	小 プ ー ル	②22.5m×4.5m
	開 設	①昭和34年9月 ②昭和51年3月
小山地区児童屋内体育施設 (小山中に併設)	所 在 地	小山町藤曲144-10
	建 物 面 積	1,478.61m ²
	開 設	昭和57年3月
菅沼地区児童屋内体育施設 (明倫小に併設)	所 在 地	小山町菅沼630-6
	建 物 面 積	1,122.66m ²
	開 設	昭和53年3月
用沢地区児童屋内体育施設 (北郷小に併設)	所 在 地	小山町用沢604-7
	建 物 面 積	1,126.26m ²
	開 設	昭和56年3月
小山地区夜間照明施設 (小山中学校内)	所 在 地	小山町藤曲144-10
	照 明 灯	8基
	用 途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開 設	平成10年4月
北郷地区夜間照明施設 (北郷中学校内)	所 在 地	小山町用沢351-2
	照 明 灯	6基
	用 途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開 設	昭和57年4月
須走地区夜間照明施設 (須走中学校内)	所 在 地	小山町須走70-18
	照 明 灯	8基
	用 途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開 設	平成13年4月
小山町パークゴルフ場	所 在 地	小山町吉久保221
	面 積	8,739m ²
	コ ー ス 全 長	804m
	A(ふじ桜)コース	9ホール パー33
	B(菜の花)コース	9ホール パー33
	開 設	平成15年4月
	電 話 番 号	080-8250-7651



小山町生涯学習センター「ホテルの里」

V 小山町教育機関等配置図



- | | |
|--|--|
| ① 成美小学校
成美小学校放課後児童クラブ | ⑪ 駿河小山幼稚園 |
| ② 明倫小学校
菅沼地区児童屋内体育施設
明倫小学校放課後児童クラブ | ⑫ 足柄幼稚園 |
| ③ 足柄小学校 | ⑬ きたごうこども園 |
| ④ 足柄小学校放課後児童クラブ | ⑭ 須走幼稚園 |
| ⑤ 北郷小学校
用沢地区児童屋内体育施設 | ⑮ いきど保育園 |
| ⑥ 北郷小学校放課後児童クラブ | ⑯ すがぬま保育園 |
| ⑦ 須走小学校
須走小学校放課後児童クラブ | ⑰ すばしり保育園 |
| ⑧ 小山中学校
小山地区児童屋内体育施設
夜間照明施設 | ⑱ 生涯学習センター
総合文化会館
図書館
総合体育館
多目的広場
小山球場
弓道場
小山道場 |
| ⑨ 北郷中学校
夜間照明施設 | ⑲ パークゴルフ場 |
| ⑩ 須走中学校
夜間照明施設 | |